

JFA news

5 NO.433
2020.
月情報号

特集

前編

つ強い体を つくる

菅野淳 JFAフィジカルフィットネスプロジェクトリーダー

フィジカルの磨き方

長友佑都 / 大迫勇也 / 靱木結花 / 吉川智貴







がんばろう
ニッポン!

サッカーファミリーのチカラをひとつに!

JFA No.433 news

2020 5月情報号

CONTENTS

002 【巻頭言】田嶋幸三 会長

特集

強い体をつくる(前編)

005 菅野淳 JFAフィジカルフィットネスプロジェクトリーダー

009 **フィジカルの磨き方**

長友佑都選手(ガラタサライSK/トルコ)

大迫勇也選手(ベルダー・ブレーメン/ドイツ)

靱木結花選手(日テレ・東京ヴェルディベレーザ)

吉川智貴選手(名古屋オーシャンズ)

017 **フィジカルプログラム ツール紹介**

019 **新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業**

【特別企画】

042 **日本サッカー協会委員長からのメッセージ**

【REPORT】

047 **高円宮記念JFA夢フィールド**
~日本サッカーの新拠点が完成

【連載】

036 隔月連載 **JFAこころのプロジェクト**
「2019年度の活動を終了」

038 隔月連載 **私とフットボール**
稲葉洸太郎(元フットサル日本代表)
「フットサルを文化にしたい」

040 **いつも心にリスペクト**
大住良之
「本当の友人」

※連載「クローズアップFA」および「オリンピックの記憶」は休載とさせていただきます

◎JFAの理念

サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する。

◎JFAのビジョン

サッカーの普及に努め、スポーツをより身近にすることで、人々が幸せになれる環境を作り上げる。

サッカーの強化に努め、日本代表が世界で活躍することで、人々に勇気と希望と感動を与える。

常にフェアプレーの精神を持ち、国内の、さらには世界の人々と友好を深め、国際社会に貢献する。

◎JFAのバリュー

エンジョイ◎スポーツの楽しさと喜びを原点とすること

プレーヤーズファースト◎選手にとっての最善を考えること

フェア◎オープンかつ誠実な姿勢で公正を貫くこと

チャレンジ◎成長への高い志と情熱で挑戦を続けること

リスペクト◎関わりのあるすべてを大切に思うこと

【期間限定企画】

052 **Stay Home**
~高倉麻子監督、菅野淳氏、吉川智貴選手

023 月刊レポート~JFAリリースインフォメーション&活動報告

028 JFA加盟登録かわら版

030 JFA関連発行物のご案内

032 蹴球通信

051 日本サッカーミュージアム

055 サッカーファミリー広場

056 次号予告

※本誌の記事・写真・図表などの無断転用を禁じます。
表紙・目次および本誌内のクレジットの記載のない写真
©JFA、©JFA/PR、©J.LEAGUE、©F.LEAGUE、©Walnix



巻頭言

公益財団法人 日本サッカー協会

会長 田嶋 幸三



日本サッカー協会（JFA）は新型コロナウイルス感染症に関する政府の緊急事態宣言および東京都等の緊急事態措置の期間延長等を踏まえ、JFA役職員の在宅勤務を5月31日まで延長しました。2月27日から長期にわたり、サッカーファミリーの皆さま、関係者の皆さまにご不便をおかけしておりますことをお詫び申し上げます。

また、昼夜を問わずに最前線で新型コロナウイルス感染症の治療に力を注いでいる医療従事者や保健所の方々、社会インフラや生活インフラを支えてくださる多くの皆さま——サッカーファミリーの皆さまの中にも多くいらっしやると思いますが——そういった方々に対して敬意を表すとともに心から感謝を申し上げたいと思います。

5月14日、特定警戒都道府県の茨城、石川、岐阜、愛知、福岡の5県を含む、合わせ

て39県の緊急事態宣言が解除されました。

解除された地域ではサッカー活動再開に向け、徐々に動き出されていると思いますが、特効薬やワクチンが開発されていない現状では、引き続き感染予防に努める必要があります。アスリートである前に一市民として節度ある行動が求められます。一日も早く日常のサッカー活動ができるよう、サッカーファミリーが心を一つにし、今できることをやってみましょう。

日本サッカーを支えてきた街クラブ、サッカーファミリーの活動を存続させる

自粛要請が長期間におよび、4月以降、私のところにも街クラブの指導者やサッカースクールを運営する方から救済を求める声が届くようになっていました。サッカー活動がストップしていても人

件費や施設などの固定費はかかりますし、在籍している子どもたちから月謝を徴収できない中でも指導者に給料を支払わなければなりません。また、4種年代の少年団やクラブチームなどは法人格を持つていないところが多くあり、任意団体では国の雇用調整助成金の対象とはなりません。それに法人格があったとしても助成金を受け取るのが2カ月も先となれば、それまで財政的に持ちこたえられないかもしれない。新型コロナウイルス感染症が終息し、いざサッカーを再開しようとなったときにクラブがなくなっていた、指導者がいなくなっていた、サッカーをする場がなくなっていた、ということだけは避けなければなりません。

日本サッカーは、街クラブやスクール、サッカー/フットサル施設、指導者や審判員、学生、選手、ボランティアなどに支えられています。その裾野が広がれば広いほど、頂点にある日本代表チームやJリーグは確固たる強さを備えることができます。クラブや施設を含め、全国で活動するサッカーファミリーは日本サッカーの財産。それを失ってしまったら復活させるのに相当の労力とお金がかかりますし、そういったところが築いてきた伝統や人脈は、なくしてしまつたらもう二度と取り戻せないかもしれないのです。一刻も早く手を打たなければ——。そういう思いで対応策を講じることとしました。

新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業をスタート

3月29日の評議員会で、2019年度の決算で積み立てた特定預金10億円のうちの7億円——これは当初、日本代表の試合や遠征費に充てるものでしたが——をこの新型コロナウイルス対策に充てること承認されました。これによって財政的にひっ迫している街クラブなどを救済できる算段がついたことから、5月の理事会承認に先立って4月14日に「JFAサッカーファミリー支援対策本部（仮称）」を立ち上げ、まずは、新型コロナウイルスによる支援策とそれに伴う制度設計に着手しました。というのも、5月の理事会の承認を得てからでは5月末に指導者の給料や固定費の支払いができない恐れがあるため、スピード感をもって対策にあたる必要があったからです。

ゴールデンウィークが明けた7日には電話相談窓口を設置し、問い合わせに対応。申請はウェブ受付のみとし、JFA公式ウェブサイトにて特設サイトを開設して仮申請をスタートさせました。そして、5月14日の理事会承認をもって正式に運用を開始しました。

事業の骨子や具体的な取り組み、申請方法などは本誌19〜21ページに記載している通りで、まずは第1次の財政支援として、新型コロナウイルス感染症の影響

で財政的な課題を抱えているサッカー、フットサル、ビーチサッカーのクラブ（チーム）とスクール事業者を対象とした融資型の財政支援事業を実施することとしました。法人格の有無やJFAへの登録の有無は問わず、2019年のチーム活動の実績があることやクラブ規模の要件が一定の条件を満たすこと、4月もしくは5月の月次収入が対前年度の同月比で半分以上減少していること、指導者の雇用などクラブ環境の維持に最大限努めることなどを挙げています。返済期間は最長10年で、無利息、無担保とします。

審査を行う機関は、新たに設置した「サッカーファミリー財政支援事業審査特別委員会」で、理事会で承認された予算枠の中で審査し、融資の決定を下します。メンバーには外部の有識者にも加わっていただきました。クラブの規模や活動実績などについては47F Aやトレセンコーナーがそれぞれの地元のことを把握していますのでそういった情報を提供してもらい、正當に審査していきます。

また、理事会では、経済的に困窮している選手を対象に2020年度のJFA登録料を免除することが決まったほか（既に納付したものは所属クラブを通じて返金）、サッカーファミリーの相互支援の仕組みの一つとして寄付金口座（名称・新型コロナウイルス感染症対策JFAサッカーファミリー支援金）を開設すること

も決まりました。寄付金はこの支援事業やJFAが行う9地域/47都道府県サッカー協会（47F A）、リーグ、連盟等への支援に充てることにしていますが、多く集まれば、今後、必要なところには、給付“という措置も取れるのではないかと考えています。とにかく可能性を広げるためにも前述の寄付金や国への働きかけなどを行いながら財源を確保し、困窮しているクラブ等の救済に全力を尽くしていく考えです。

各リーグ、連盟もJFAが支援

今回の新型コロナウイルス感染拡大による影響はグラスルーツの活動に限らず、Jリーグやでしこリーグ、Fリーグといった各リーグや各連盟とその加盟クラブ、さらには9地域サッカー協会や47都道府県サッカー協会にも及んでいます。通常、JFA主催以外の有料競技会を開催する場合、入場料収入の3%相当額をJFAに納めることになっていますが（JFAが主催、共同主催または後援する有料競技会においても同様）、2020シーズンに限り、この協会納付金を免除することとしました。

各リーグや連盟に対する支援策は、今回の第1次財政支援事業よりも多額になることが見込まれることから、その対応策については6月以降の理事会で協議することにしています。

FIFAワールドカップカタール2022のアジア予選や東京オリンピックを控えた中で、自国のリーグがしっかり行われることが日本代表の強化にとっても重要です。

また、Jリーグの再開はサッカー界だけでなく、スポーツ界にも大きく影響します。というのは、Jリーグが toto（スポーツ振興くじ）の対象になっているからです。 toto の収益は、オリンピック選手など各競技団体の強化に役立っているほか、指導者や審判員などの人材養成、グラウンドの芝生化や地域のスポーツ施設などスポーツインフラの整備などに使われています。そういった財源を確保するためにもJリーグが開催されることが望ましいのは言うまでもありません。しかし、新型コロナウイルス感染症についてはまだ解明されていない点が多く、軽々にリーグ再開を決められることではありません。医学委員会の協力なども仰ぎながら、安全に再開できるように、サポートしていきたいと考えています。

日本代表を含め、JFAはこれまでに多くの方々からのサポートを受けてここまで成長してきました。新型コロナウイルスの影響でグラスルーツの活動などが困難に直面している今、今度はJFAがサッカーファミリーの皆さんを支援する番だと考えています。JFAがフットボール文化、スポーツ文化を守る最後の砦（とりで）となって取り組んでいきます

ので、支援が必要なクラブや困っていることなどがあれば、是非、相談窓口にお問い合わせください。みんなが笑顔でサッカーを存分に楽しめる日を取り戻すために全力を尽くしてまいります。

※JFAサッカーファミリー支援事業の詳細や融資の申請については本誌19～21ページ、またはJFA公式ウェブサイト「JFAサッカーファミリー支援窓口」をご覧ください。



[特集]強い体をつくる(前編)



フィジカルを強化する

選手として高いパフォーマンスを発揮するために、フィジカルは重要な役割を担う。走る、蹴る、ジャンプする、当たるなどといったプレー中の動作一つ一つがフィジカルと密接に関わっている。フィジカルが高まれば自らの理想とするプレーも発揮しやすくなり、高い意識を持って練習に取り組むことにもなるだろう。

一方、世界の列強と比べると、日本は「フィジカルで劣っている」という声もある。日本サッカー協会(JFA)は、フィジカル強化を専門とする「JFAフィジカルフィットネスプロジェクト」を2004年に発足。世界との差を埋め、日本人の特徴を生かしたサッカーを具現化すべく取り組みを進めてきた。

今号では、同プロジェクトの菅野淳リーダーにフィジカルの定義やその重要性、プロジェクトが目指すものなどを聞くとともに、SAMURAI BLUE(日本代表)の長友佑都選手、大迫勇也選手、なでしこジャパン(日本女子代表)の初木結花選手、フットサル日本代表の吉川智貴選手にもフィジカルに対する考え方などを聞いた。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、トレーニングをするのも困難な状況だが、これを機に自身の体やフィジカルと向き合い、考える機会としたい。



菅野 淳 KANNO Atsushi

JFAフィジカルフィットネスプロジェクトリーダー

インタビュー

※このインタビューは2020年4月10日にウェブ会議システムを利用して行いました。



ウェブ会議システムで取材に応じる菅野リーダー



志向するサッカーと フィジカルの バランスが大事

日本サッカー協会(JFA)では「フィジカル」をどのように捉え、それを鍛えるためにどのような働きかけをしているのか。JFAフィジカルフィットネスプロジェクトを統括する菅野淳リーダーに、同プロジェクトの意義や目的、フィジカルの細かな分類、そしてフィジカルトレーニングの考え方、選手や指導者へのアドバイスなどを聞いた。

フィジカルの重要性をさらに周知していく

—まず、JFAフィジカルフィットネスプロジェクトの目的や目指すものを教えてください。

菅野 JFAは「JFA2005年宣言」で、2050年までにFIFAワールドカップで優勝することを「約束」として明記しています。それを実現するために、プロジェクトでは日本人選手をフィジカルの側面からどのように強化していくか、ということテーマに掲げて活動しています。

サッカー選手のパフォーマンスを分解すると、テクニック、戦術、メンタルといったさまざまな要素の一つとしてフィジカルがあります。いずれも不可欠なものです。われわれとしては、代表監督に「フィジカルで負けた」と言わせないためにどうするか、を常に考えています。

今までは「Japan's Way」として持久力や敏しように性、テクニック、組織力など日本人選手の良い部分を前面に押し出して戦っていました。しかし、海外でプレーする日本人選手の意見を聞くと、相手と1対1で対峙したときにパワーを前面に押し出してくる相手にひるんだり、Jリーグではできていたテクニックが発揮できない



世界と比較しても、さらにパワーなどフィジカル面の向上が必要だ

といった課題が出てきていると言います。それで「日本人選手が日本人の良さだけで戦うのは限界が来ているのではないか」「ピッチ内外でのパワー強化は避けては通れないのではないか」といった考えから、これからはフィジカルやパワーの重要性をさらに周知していかうとしています。

—世界と比較して、日本のフィジカルレベルはどの位置にあるのでしょうか。

菅野 体格や筋肉量では、欧米の選手に比べると多少劣るケースもあると思います。ヨーロッパでプレーする日本人選手に所属クラブでのトレーニング内容を聞く、筋力トレーニングに加え、ピッチ上でもフィジカルやパワーを重



フィジカルには、サッカーの動きづくりを補完する働きがある

プロジェクトとしては、「日本人選手のウィークポイントであるフィジカルを、むしろストロングポイントに変えていくんだ」という提言をし、実際のトレーニング方法を模索しています。そのためには育成年代、あるいはキッズ年代からの取り組みが必要です。完成形のイメージをしっかりと持ち、有効なプログラムを発信していきたいと思っています。

サッカーの動きづくりを補完できるように

「フィジカル」と言っても、さまざまな要素があると思います。どのような項目が挙げられるでしょうか。

視したトレーニングをかなりやっているそうです。私はJクラブでフィジカルコーチを務めていましたが、海外と比べると、Jクラブが行うフィジカルトレーニングは量的にも質的にも少ないという印象を持っています。ですから、今後は積極的に取り組んでいく必要性を感じています。

プロジェクトでは具体的にどのような形で取り組みを進めていますか。

菅野 現在、プロジェクトにはさまざまなバックボーンを持つ19人のメンバーがいます。そのメンバーと共に世界のサッカーの潮流を見つつ、日本はどうしていくべきかを具現化するために議論しています。

プロジェクトとしては、「日本選手のス��ルなどを磨けば十分に対応できます。」

サッカーの動きを分解すると、フィジカルは大きく四つの要素に分けられます。まず考えられるのは「有酸素性持久力」です。有酸素性持久力は90分間走り続けたり、常にプレーに関与し続けるといった持久力を伴う能力です。次に、「スピード持久力」が挙げられます。これは高強度の無酸素性の運動、例えばスプリントを繰り返す、またはダッシュやターンなどを連続して発揮するといった能力です。

また、「スピード」も重要な要素です。サッカーで勝負が決まるのはゴール前での攻防ですが、ペナルティーエリア内に入るときの速さ、また自分のマークする相手にボールが入ったときの素早いアプローチなどは非常に重要なものです。陸上競技のスピードとは少し

意味合いが異なり、サッカーではプレー中の判断を伴ったもので、しかも加速と減速を伴ったものでなければなりません。そして最後の二つは「パワー」です。ボールの落下地点でポジションを取り、相手と競りながら先にボールを触ったり、先にジャンプされたら相手にヘディングさせないように体を寄せたりする1対1の場面でのパワーも重要です。

フィジカルは、有酸素性持久力、スピード持久力、スピード、パワーの四つに分けて考えると、トレーニングもしやすくなると思います。

「さまざまな要素が「フィジカル」という言葉に含まれているのですね。」

菅野 そうですね。やはり全ての要素が大切になってきます。けれど、少し前までは走れるチームにならなければいけない、と考える風潮がありました。最近ではチーム全体の走行距離が長くなっても、ポゼッション率を上げて勝率を高めるチームも存在します。そうしたチームに対抗して、カウンターを狙い、相手にプレッシャーをかけ、「走り勝とう」というチームがあつたりします。また、ボールを保持しているか、いないかで走り方にも違いがあります。自チームがボールを保持していないのであれば、相手チ

ームに走らされているとも言えます。そういう意味では、志向するサッカーとフィジカルのパランスをうまくとる必要があります。

「フィジカルトレーニングにも志向が必要だ？」

菅野 シーズンの初めは、一昔前のようなひたすら走り込む、筋力トレーニングをするといったことが体のベースづくりには有効ですが、それだけはサッカーに結びついていきません。そういうトレーニングをしているときは往々にして選手は「やらされている感」を抱いていると思います。そうならないために、選手に「その運動がどうサッカーにつながっているか」を理解させることでトレーニングの効果はより上がっていきます。

■フィジカルの要素

有酸素性持久力	・長い距離を走る、常にプレーに関与し続けるための持久力
スピード持久力	・ダッシュやターン、スプリントなどを連続して行う能力
スピード	・加速や減速、瞬間的なスピード、判断を伴ったスピード
パワー	・筋力や体幹などの体の強さ、爆発的な筋力など筋出力の発揮

選手の成長過程に沿って働き掛けると同時に、自ら成長できる環境の創出も重要な要素となる



素走り(ボールを使わずに走る)こと)もリカバリー(回復)能力を高めるために重要ですが、判断を伴う頭を働かせるトレーニングを並行して行えば、さらに有効だと思えます。また、筋力トレーニングを行う場合でも、われわれは「トランスファー(変換パワー)」トレーニングと呼んでいます。ベンチプレスやスクワットで鍛えた筋肉がサッカーで生きるように、その中間を埋めてあげることが必要です。例えば、「高い打点でヘディングができるようにする」という目的でトレーニングをプログラムする場合、負荷をかけてスクワットをした後、スクワットジャンプや片足ジャンプなどを取り入れて、最終的にヘディングの動作につながる流れをつくるといったものです。サッカーの動きづくりを補完でき



指導者は選手を見守り、手を差し伸べるタイミングを見極めていくことが求められる

るよう、しっかりとトレーニングを組み立てることが大事です。

成長過程に合わせて工夫したトレーニングを

「先ほど「育成年代からの取り組みが必要」という話が出ましたが、成長過程に合わせてどう取り組んでいけばいいのでしょうか。」

菅野 小学生年代ではコーディネーションを中心に、即座の習得が可能な「ゴールデンエイジ(一般的に10~12歳くらいの年代)」では動きづくりをメインに行い、中学生年代になったら持久力強化、高校生年代で筋力トレーニングを取り入れるといった段階を踏む方法が提唱されてきました。それぞれものは問題ありませんが、発育や成長に個人差があることを考慮すると、早熟の選手に対しては早い段階で力強さにつながるようなメニューを取り入れてもいいと思っ

ています。例えば小学生で相撲やレスリングなどの他種目のトレーニングを取り入れたり、体格の異なる中学3年生と高校1年生が一緒にトレーニングをするなども効果的だと思います。

「いろいろなバリエーションが必要、とごいいたいですね。」

菅野 もちろん内容や領域を吟味しなければなりません。小学校低学年の選手に筋力トレーニングが必要かと言えば疑問符がつきます。また、年代ごとに著しく発達する能力があるので、タイミングを間違わないようにしなければなりません。

今は学年ごとに区切って、指導者の主導でトレーニングをするこ

とがほとんどです。それは確かに正しいことだと思いますが、例えば日本人選手が体格差のある海外の選手に向かっていくように、年の離れた大きい子に小さい子が立ち向かっていくような構図をどこかでつくってあげると子どもたちはフィジカルを補うために工夫するようになるのではないかと

選手へのアプローチや付き合い方とは

思います。当然けがにつながることはないかもしれませんが、そうやって自然と成長できる環境をつくってあげることが必要なのかな、という気がしています。

「選手自身が自主的にフィジカル強化に取り組むために、指導者はどのようにアプローチをすればいいのでしょうか。」

菅野 フィジカルトレーニングが好きな選手やフィジカルが自分の

強みだと意識している選手は真面目に取り組むでしょうが、トレーニング自体はキツイため、「やらなくて済むなら……」と考える選手も中にはいるでしょう。

フィジカルに特化すると、まずは選手個々のストロングポイント

を押し出していくような働き掛けが必要なのではないでしょうか。最初から「ないものねだり」でウィークポイントに目を向けるようでは、選手は意欲的に取り組もうとはしません。個々の武器で勝負して、それが伸びなくなってきたとき、または挫折を味わったときにアドバイスができればいいのではないかと思っています。私も過去の経験から、試合に出られなくなった選手が相談に来た際に、「何が足りないのか一緒に考えよう。試合に出られるように何でも手伝うよ」というスタンスでいました。これはフィジカルコーチだけでなく、指導者としての根本的な姿勢だと思えますが、手を差し伸べるタイミングを見極めるようにしなければいけませんし、本当に困ったときにすぐ手助けできるように、常に準備をしておくことが必要だと思えます。

「指導者が与え過ぎない、教え過ぎないことが大事ということですね。」

菅野 指導者は選手に教えたいし、持っている知識を共有したいという欲求がすごく強いような気がします。ただ、「あれをやれ、これをやれ」と指示して取り組ませるのは好ましくありません。選手はロボットではないのでいろいろなことを考えますし、挫折もします。一方で、一気に伸びるときもあります。そのときを待ってサポートしてあげる。そのような付き合い方が大切だと思います。

「ご自身にとって印象的なエピソードがあれば教えてください。」

菅野 ある若手選手が鳴り物入りでチームに加入してきました。彼は長身で体格も良かったのですが、練習試合や紅白戦になかなか出られなかったんです。それでスタッフの研究を兼ねてMRIで検査したところ、筋量がプロで何年もやっている他の選手に比べて少なくて、起用されないのも納得、という数値でした。それで私のところに来たときに、「まずはしっかりと体づくりをしよう」と伝え、半年くらい、一緒に体幹トレーニングや大腰筋を鍛えるための下半身のトレーニングをしました。その後、試合で抜てきされたときに活躍し、そのままブレイクしました。その





どのような選手になりたいかなど日々イメージして取り組むことで成長のスピードは上がる

い、という声を吸い上げ、「ではこう改善させていきましょう」「この年代ならば事前準備としてこのトレーニングをしましょう」といった形でサポートできるような、双方向でコミュニケーションをとれるものを提供していきたいと考えています。その形でお互いに検証していけば、われわれにとっても有益なものになると思っています。

また、2021年からフィジカルのC級ライセンスを新設しようと準備を進めています。フィジカルコーチのライセンスは、これまでアジアサッカー連盟(AFC)のコースを受講するしかなく、そのためにはサッカー指導者のB級ライセンスを保持していなければなりませんでした。JFAのコースはC級ライセンスを持つていれば受講できるようにしたいと考えています。フィジカルコーチを目指す方にも、フィジカルの知識を高めた指導者の方にも受講していただきたいと思っています。

——全国的に見ると、フィジカルコーチが常駐しているチームは少なく、どのようなフィジカルトレーニングをすればいいのか分からないといった声も多いと思います。

菅野 プロジェクトの事業の一つとして、高円宮記念JFA夢フィールドが稼働したらトレーニングプログラムの動画を提供していこうという構想を持っています。動画をアップするだけではなく、やってみただけでうまくいかな

い、という声を吸い上げ、「ではこう改善させていきましょう」「この年代ならば事前準備としてこのトレーニングをしましょう」といった形でサポートできるような、双方向でコミュニケーションをとれるものを提供していきたいと考えています。その形でお互いに検証していけば、われわれにとっても有益なものになると思っています。

また、2021年からフィジカルのC級ライセンスを新設しようと準備を進めています。フィジカルコーチのライセンスは、これまでアジアサッカー連盟(AFC)のコースを受講するしかなく、そのためにはサッカー指導者のB級ライセンスを保持していなければなりませんでした。JFAのコースはC級ライセンスを持つていれば受講できるようにしたいと考えています。フィジカルコーチを目指す方にも、フィジカルの知識を高めた指導者の方にも受講していただきたいと思っています。

自分の理想像を定め そこに向かって突き進む

——今は新型コロナウイルスの影響で自宅待機が求められています。自宅でのトレーニングにはどのような効果が期待できるのでしょうか。

菅野 今それしかできないのであれば、何もしないよりは何かをやっておいた方がフィジカル的にもメンタル的にもいいと思います。例えば香川真司選手(サラゴサ)や乾貴士選手(エイバル)が宿題的な感じでリフティングの動画をアップしてくれています。そういうことにチャレンジするのも非常に良いと思います。時間があれば、それをやりながら、最終的に何かしらをサッカーにつなげていけばいいのではないのでしょうか。「サッカーができない」と悩むよりも、「サッカーにつながる」と信じて取り組んでいけばいいと思います。

——屋内などの狭いスペースや個人でできるトレーニングについてアドバイスがあれば教えてくださいませんか。

菅野 人それぞれなので万人に合うトレーニングはなかなかないかもしれませんが、今はJFAもコンディショニングプログラムのトレーニング動画を無償公開していますし、さまざまな動画が公開されているのもいいと思います。

いつトレーニングが再開できるかが分からないからこそ、地道に自分の体を見つめてほしいですね。家の中でできるのは体幹トレーニングくらいしかないと

いますけど、毎日同じことをしても飽きてしまいますし、十分な効果も得られません。例えば1日おきに上半身と下半身を分けてやるとか、自分の中で1週間の計画を立てていろいろなメニューをやってみる。今日はこれ、明日はこれという感じで組み立てていくと、意外といろいろなことができます。

——どのような気持ちを持って取り組むことが大切なのでしょうか。

菅野 適当な気持ちで「何をやるのかな」ではなく、高いモチベーションを持って、最終的に自分がどうなるべきか、トレーニング再開後にどんな自分になりたいのかを明確にして取り組むことが大事です。この期間をブランクにせず、前の自分とは違う姿を見せてやるんだ、という目標を持ってやっていくべきだと思います。

また、「考える」時間も増えていると思います。この時間を有効に使い、サッカーとの向き合い方、目標とする選手のプレーを観察・分析することも大切です。こうした時だからこそ、チームの中で自分はどうな役割があるのか、監督が目指すサッカーの中でどのようにチームに貢献できるのかを考えながら、自分はどうしたいかなどを

見定め、そこに向かって突き進んでほしいと思います。

——トレーニング再開後はどのような姿勢で臨めばいいのでしょうか。

菅野 焦らないことが大切です。すぐに試合があるからと焦ってしまい、最初から全開モードでトレーニングをすると、けがをするリスクも高まります。焦らずにじっくりとコンディションを上げていく必要があります。まずはトレーニング再開後に最高のパフォーマンスが出せるよう、今のうちから体づくりをしていきましょう。

——最後に、読者へのメッセージをお願いします。

菅野 フィジカルは走る、跳ぶといったシンプルなものから、よりサッカーに関わるものまでいろいろあります。その中で選手は自分の強みは何か、自分に足りないものは何かを考えること、そして指導者は、選手に寄り添い、サポートすることが大切だと思います。なりたい自分ややりたいサッカーをイメージし、一つの要素としてフィジカルにも取り組んでもらえたらと思います。

NAGATOMO Yuto

世界で戦うために日々試行錯誤してらる

小柄ながらFIFAワールドカップ3大会連続出場を果たしている長友佑都。33歳にして今なお欧州のトップレベルで活躍を続けるサイドバックに、世界で戦うためのフィジカルの磨き方について聞いた。

○取材日：2020年4月20日 ※書面による取材を基に記事を構成



長友佑都

(ガラタサライSK/トルコ)

インタビュー

**目指すべきゴールを設定し
強い気持ちで取り組む**

—フィジカルが重要だと気付いたのはいつ頃ですか。

長友 明治大学在学中はヘルニアや腰椎分離症を患うなどけがに悩まされました。そのときに体幹トレーニングを取り入れ、けがの症状が解消されたことでフィジカルの重要性に気付きました。もちろん、それまでもフィジカルトレーニングの必要性は感じていましたが、けがをしてからその意識がより高まりました。

—それからはどのような取り組みをしてきましたか。

長友 体幹トレーニング、ヨガ、走りのスキル、可動域を広げるトレーニングなどに取り組んできました。体幹トレーニングは一般的なクラッチやサイドブリッジはもちろん、FLOWINというツールを使って全身を連動させるトレーニングを行っています。ヨガは体の柔軟性を高めるために続けていて、瞑想

や基本的なポーズ、ストレッチの要素も取り入れたオリジナルの動きなどを中心に行います。走りのスキルや可動域を広げるトレーニングなどは専門のトレーナーに指導してもらっています。

—本格的に取り組むようになって心身それぞれにどのような変化がありましたか。

長友 ピッチで堂々とプレーできるようにになりました。自分が一番自分自身の努力を知っていますから、地味で厳しいトレーニングをしてきた自分に自信が持てるようになりましたね。また、以前にも増して物事をポジティブに捉えられるようになりました。

—フィジカルトレーニングは効果が出るのに時間がかかりますが、どのようにモチベーションを維持していますか。

長友 自分の中で夢や目標がはっきりしていればトレーニングを継続するのは簡単だと思います。目指すべきものや強い気持ち、信念

があればあるほどトレーニングに前向きになります。自分のゴールを設定して始めることが大切だと思います。

—フィジカルを鍛えるためには、栄養(食事)と休養(睡眠)も重要になるとは思いますか。

長友 その通りで、良質なリカバリーをしないとせっかくのトレーニングの効果が半減してしまいますからね。特に栄養を重視しています。専属のシェフに頼んで、そのときのコンディションに合わせた食材や栄養素を考えたメニューをつくってもらっています。

—一定レベルのフィジカルを備えなければピッチでは戦えない

—サッカーのパフォーマンスアップとフィジカルの関係性をどう考えていますか。

長友 サッカー選手にはいろんなタイプの選手がありますが、フィジカルは、選手として一定レベルのものを備えていなくてはならないものの一つだと考えています。それがあからこそ、強いチャージを受けなくてもボールをキープできたり、イメージ通りのキックができる。走

力に関しても同じことが言えます。"ここぞ"というタイミングでオーバーラップができたり、より良いポジションングを可能にするのも走力という一種のフィジカルです。つまり、パフォーマンス向上にフィジカルは必要不可欠だということ。フィジカルというベースがあるからこそテクニックやアイデア、駆け引きといった要素が生かされていく。選手としての土台を大きくするために、バランスよくフィジカル能力や体の使い方を向上させることが大切だと考えています。

現代サッカーにおけるフィジカルの重要性とは？

長友 今は、体幹、走力、運動機能、それぞれを一定のレベルで備えていないとピッチでは戦えません。クリスティアーノ・ロナウドは特に有名ですが、世界のトップ選手たちはフィジカルトレーニング、コンディショニングにとことんこだわって取り組んでいます。それはチームでも同じ。インテル（イタリア）でもガラタサライでもフィジカルやコンディショニングのコーチがいて、選手のフィジカル能力の向上のために日々、メニューを考えてくれます。サムライブルー（日本代表）でもみんなの関心は高いですよ。合宿中にはよく若手選手か

らトレーニング方法を教えてほしいと言われ、長友塾を開催しているくらいですから。

長友選手にとってフィジカルとは？また、世界のトップレベルで戦うためにどのような部分を伸ばしてきましたか。

長友 「二対一で負けない強い体」ですかね。世界には身長が195センチもある（ズラタン・イブラヒモビッチ）ら大きな選手もいます。そういった大きい選手とプレーしなければならぬので、当たり負けしない強い体がフィジカルだと僕は考えています。そして、それは僕の強みでもあるので、まずは対面した相手に勝つための能力を伸ばすことを考えました。最初に

取り組んだのは、体幹の強化です。体のコアを鍛えることでチャージのときにブレが少なくなり、強い体を手に入れることができました。軸が定まることで反転のブレも少なく、スピードも上がりました。その後は、しなやかな動きを手に入れるためのトレーニングにも力を入れてきました。

フィジカルを鍛える中で壁にぶち当たったことはありますか。

長友 北京オリンピックのときで

すね。僕は当時、大学生でしたが、正直フィジカルでは誰にも負ける気がしなかった。でも、対戦したアメリカ、オランダ、ナイジェリアは、チームでも個でも歯が立たず、鼻をへし折られた感覚を味わいました。ここで世界との壁を感じたことが僕にとってのターニングポイントです。（サミュエル・エトー、イブラヒモビッチ、（モハメド・）サラールと対峙してスピードやパワーで差を感じることはありませんが、自分を客観的に分析して足りない部分のトレーニングを繰り返しています。

大柄な欧州の選手と比較して日本人選手がフィジカル面で勝るのはどのような部分ですか。

長友 機敏性だと思います。狭い局面で細かいステップを踏めるところやクイックネスの細かい切り返しですね。（香川）真司が良い例で、日本人のフィジカルの生かし方では参考にすべき選手だと思います。僕の場合は、二対一で対面した相手を封じ込める、そのためのフィジカルをとことん高めています。当たり負けしない体幹、反転するときの体の使い方、しなやかさ、こういった部分ですね。そして、90分間ピッチをアップダウンすることができる持久力。これも強みの一つです。いずれ

もベテランの域に差し掛かって経験値が高まったことで、より効果的にフィジカルを使うことができるようになったと思います。

課題を洗い出し克服する努力を

育成年代ではなかなか専任のフィジカルコーチの指導を仰ぐのは難しいですが、どのようなことを意識してフィジカル強化に取り組めばいいでしょうか。

長友 これは課題ですね。ただ、専任コーチの指導を受けるのが難しくても、今は気になったことをインターネット上ですぐに調べられます。自分の弱点、足りない部分を一度しっかりと見つめ直し、それを改善するためのトレーニングを見つけて取り組んでみる。数カ月間やって変化を確認し、効果があれば継続する。変化がなかったら異なるトレーニングを取り入れる。このサイクルで自分の弱点を克服していくのがいいと思います。

ら。栄養の偏った食事をしていたり、食生活が乱れている人は意識を変える必要があります。トレーニングでは、ここまで話したものはどれも重要です。ただし、過度な負荷をかけたトレーニングはけがのリスクも高まりますので、指導者と相談しながら進めてください。その上で、それぞれの課題を克服するためのトレーニングに努めてください。

最後に、世界を目指す若い選手にアドバイスをお願いします。

長友 まずはサッカーを楽しんでください。今は新型コロナウイルスの影響で、チームで活動するのは難しい状況だと思います。チームメイトとサッカーができること、それは決して当たり前ではありません。親御さんのサポートがあり、仲間がいて、世界が平和であることをすることができず。サッカーができる幸せをかみ締めて、サッカーを楽しんでほしい。その中で、僕が話したフィジカルの考え方やトレーニングを生かしてもらえたらうれしいです。そしてサッカー人生を通じて人と成長してほしいと思います。

長友 食事はとても大切です。食べたものが体をつくるわけですから。



大迫 勇也

(ベルダー・ブレーメン/ドイツ)
インタビュー

OSAKO Yuya

現代サッカーにおいて フィジカルの向上は欠かせない

2014年にドイツに渡り、屈強なDFを相手にスキルを磨いてきた。サムライブルー(日本代表)でも常に最前線で体を張り、チームの攻撃をけん引する。万能FW・大迫勇也のフィジカルの磨き方とは。

○取材日：2020年5月7日 ※書面による取材を基に記事を構成

フィジカルを鍛えることで心と体のバランスが良くなった

した。また、フィジカルトレーニングを続けたことで心と体のバランスが良くなり、自信が付きました。

—フィジカルの重要性に気付いたのはいつ頃ですか。

—フィジカルトレーニングの際、何を参考に、どのように学んでいましたか。

大迫 中学1年生のときです。3年生と対戦して、体格差もありパワーで全くなかななかったんです。本当に悔しかったのを覚えていますね。それまでは楽しくプレーすることしか考えていませんでしたが、そこでフィジカルの重要性に気付きました。

大迫 昔は今と違って情報量が少なかったもので、先生の話をしっかり聞いてそれを試す、ということを繰り返していました。

—その後、トレーニングなどの取り組みに変化はありましたか。

—フィジカルトレーニングは効果が表れるのに時間のかかる地味な取り組みですが、どのようにモチベーションを維持していますか。

大迫 毎日、サッカー部の先生と一対一の練習をするようになりましたし、体幹トレーニングも行うようになりました。そういった練習をすることで中学3年生になる頃には体も大きくなりました。

大迫 フィジカルトレーニングによって積み上げられたものによって発揮して良い結果を得る、という体験をすることです。試合で成功する自分を想像することも大切です。一回でも試合

で良い結果が得られれば、そういう成功体験をまた味わいたいと思うはず。僕はそれがモチベーションの維持や成長の糧になっています。

—フィジカルを鍛えるためには、栄養(食事)と休養(睡眠)も重要になると思いますが。

大迫 試合を戦うための強い体をつくるには、食事と休養は非常に大事です。僕は、食事は時間を決めて取り、睡眠は一日平均8〜9時間は取るようにしています。

次の試合に向けた良い準備として

—サッカーのパフォーマンスアップとフィジカルの関係性をどう考えていますか。

大迫 フィジカルの向上はパフォーマンスアップに直結すると考えています。現代サッカーは運動量も多く、スピードもあり、フィジカルコンタクトも非常に多いので、フィジカルの向上は欠かせません。ドイツに来てからその重要性をより感じています。

— 大迫選手はセンターフォワードとして世界の屈強なDFと対戦してきました。彼らとトップレベルで戦うためにどのような部分を伸ばしてきたのでしょうか。

大迫 まずは、相手選手とフィジカルコンタクトがあったときにぶれない体をつくることを考えました。ぶれない強い体があれば、自分が次に行いたいプレーをしやすくなるので、体幹やバランスを重視して伸ばしてきました。

— 実際に対戦する際のポイントを教えてください。

大迫 フィジカルはただ強いだけでは駄目なんです。欧州の選手と日本人選手では骨格も違うので単純にパワーだけではかわらないかもしれませんが、次のプレーを予測して、ボールに触れる前に相手の体にこちらの体を当てるなど、強さだけではなく相手の良さをさせないようまともフィジカルを鍛える一つのポイントになると思います。

— これまでに対戦してきた中でフィジカル面が特に優れていると感じた選手は？

— フィジカルを鍛える中で壁を感じたことはありますか。

大迫 ドイツではバイエルン・ミュンヘンの（ジェローム・ボア）テングで、全てがすごいと感じる選手です。日本では、代表でセンターバックのコンビを組んでいた中澤祐二さんと（田中マルクス）關莉王さんが強かったですね。

— フィジカルを鍛える中で壁を感じたことはありますか。

大迫 ドイツに来たばかりの頃は、チームの練習だけで上半身が筋肉痛になっていました。これはJリーグではなかった経験です。それくらいドイツでプレーしている選手のフィジカルは強かったです。そういう選手たちと練習することで自然とパワーがつかまりました。また、そのプレー環境に慣れてきてからはチームでの練習に加えて体幹などの個人トレーニングを行い、困難な状況乗り越えることができました。

です。それから僕にとってフィジカルとは、次の試合に向けた良い準備である、ということが言えるかもしれませんね。

— 現在、ご自宅ではどのようなフィジカルトレーニングを行っていますか。

— フィジカルの向上に向けて育成年代でもすぐに取り入れられることがあれば教えてください。

大迫 新型コロナウイルスの影響で外出制限がかけられた当初の2週間はクラブから与えられたメニューを行っていました。あとは、週に1回、トレーナーから体幹トレーニングなどの指導を受けて体に刺激を与えていました。

試合で活躍するためのトレーニングを

— 育成年代ではなかなか専任のフィジカルコーチの指導を仰ぐのは難しいですが、どのようなことを意識してフィジカルのトレーニングに取り組みばいいでしょうか。

大迫 今は、フィジカルトレーニングの動画もインターネット上にたくさんあるので、自分たちでどんどんいろんなメニューを探して、すぐに実践できます。自分の意識次第で状況は変えられるはずです。

— フィジカルの向上に向けて育成年代でもすぐに取り入れられることがあれば教えてください。

大迫 僕は学生時代、お菓子や甘い炭酸飲料などは口にしませんでした。先ほども言いましたが、自分の意識次第ですぐにできることはたくさんあるので、今の自分の生活を一つ一つ見直し、自分の目標に向けて必要なことなのか否かを考えてみることは大事だと思います。サッカーでは、とにかく試合で活躍するためには、トレーニングをするべきです。無理な制限や規制をする必要はありません。

— 自分自身の若い頃を振り返って、こういうトレーニングをしておけば良かった、ここを鍛えておけば良かったと思うことはありますか。

大迫 振り返ってみるとたくさんありますが、一方で当時それをやっていたら今の自分の良さがなくなっていたかもしれないという思いもあります。今は今のトレーニング、昔は昔のトレーニングの良いたところがあるので、育成年代の

選手たちには、今、自分が試合で活躍するためにできることを全力でやってほしいと思います。

— 最後に、世界を目指す若い選手にアドバイスをお願いします。

大迫 自分の目標をしっかり立てて、それに向かって頑張っていてほしい。今はインターネット上で映像を探すのも難しくないので、好きな選手やお手本となるプレーを見て、まねをしてください。チャレンジを繰り返すことで自身の成長につながっていくはずです。



欧州の舞台で鍛えられたフィジカルや体の使い方はSAMURAI BLUEでも存分に生かされている

MOMIKI Yuka 小さくても世界で活躍するプレーがある

なでしこジャパン(日本女子代表)で

攻撃のキーマンとして頭角を現した**初木結花**。

なでしこリーグの中でも小柄な153センチの体で世界としのぎ

を削る**初木**にフィジカルへの取り組みやその考え方を聞いた。

○オンライン取材日:2020年4月14日



初木結花 (日テレ・東京ヴェルディベレーザ) インタビュー

中学時代に受けた衝撃 生き抜くための術を学ぶ

—フィジカルを意識し始めたのはいつ頃でしょうか。

初木 意識したと言うより衝撃を受けたのは中学1年でメニーナに入ったときのことです。チームメイトに高校3年生がいたり、対戦相手が大学生や大人だったので戦わなくてはいけなかったんです。その最初の1年は衝撃の連続でした。パワーやスピード、体の大きさも全く異なり、フィジカルの差を感じました。

—メニーナに入るまでは意識していなかったということですか。

初木 それまで全く意識していませんでした。小学生まではスピードで相手を抜いたり、ワンフェイントのドリブルでかわしたり、自分がやりたいプレーができていました。チームが変わって全く違う世界に入ったような感覚でした。

—153センチとなでしこジャパンの中でもひとときわ小柄ですが、これまで壁にぶち当たったことはなかったのでしょうか。

初木 今振り返ると中学1年生のときがその壁だったのかなと思います。当時の自分は体が小さいことでそれまでできていたプレーができなくなりましたが、レベルの高い環境でプレーできることに喜びを感じていました。悩むというよりもとにかくサッカーが好きでプレーしていました。体が小さい自分がどうやって生き残っていくのか、体が大きい相手にどうやって立ち向かっていけばいいのかを無意識に考えながらやってきたと思います。

—具体的にどのようにしてフィジカルの壁を打ち破ったのでしょうか。

初木 メニーナで実質的にプレーした3年間でサッカーそのものを教わったと感じています。フィジカルの強さは関係なく、

ボールを持った選手がいたときに、どこにパスコースをつくるのかを突き詰めるチームでした。結果的にそれが自分の生き残っていく術となりました。

パフォーマンスは頭×体 小さくても世界で活躍できる

—フィジカル面で自信があるところは。

初木 身長が低いということは他の選手よりも重心が低く、相手の懐に潜っていける。それが自分のプレーの特長です。そこでの一瞬のスピードは自分の武器になっていると思います。

—サッカーのパフォーマンスとフィジカルの関係性についてはどう考えていますか。

初木 体と頭の掛け算がパフォーマンスにつながると思っています。自分がイメージするプレーをするにはフィジカルを上げていかなないと世界では通用しません。また、日本国内と海外でできることが違ってくるのは、海外では相手のフィジカルレベルが上がっているためです。そこは頭を使ってプレーすることもそうですし、頭と

体、両方を鍛え上げることで自分のパフォーマンスが向上すると思います。

——育成年代の頃に参考にしてきた選手はいますか。

初木 自分は左利きなので、アルゼンチンのリオネル・メッシ選手のことにはすごく見ていました。「左利きで小さい」タイプの選手は、他のタイプと比較しても自分に似た選手とイメージを重ね合わせることが多いのではないのでしょうか。ダビド・シルバ選手も同じように見ていましたし、日本人では中村俊輔選手のキックを小さい頃からよく見ていました。

——自分と近いタイプの選手のプレーを見ることで自身に必要なことが分かったりしますか。

初木 メッシ選手やダビド・シルバ選手が世界で結果を残せているのは、小さくてもできることがあるからだと思います。二人のプレーを見て学ぶことはたくさんありました。小さい選手の代表として結果を残してくれているので、自分も世界を相手にできるんだという勇気ももらえたり、実際のプレーのイメージもつきました。

——2017年に初木選手がなでしこジャパンに初招集されたとき、チームはフィジカルを一つのテーマに強化を図っていました。なでしこジャパンに選ばれてから意識の変化はありましたか。

初木 毎年少しずつやり方を変えてフィジカル強化に取り組んでいます。3月のShe Believes Cupでは、体が小さく、足もそれほど速くない自分が一瞬のスピードで勝負できました。頭を使いながら自分の強みを生かすという点で、自分のプレースタイルに光が見えた大会でした。

今できることをして
サッカーに新たな価値を

——東京オリンピックの延期が決まりましたが、今の気持ちはいかがですか。

初木 3月の大会では3連敗してしまい、残り3カ月で本場に世界一を取れるのか、考えさせられました。オリンピックの延期は自分たちでどうこうできる問題ではありません。ただし、もう一年

準備する時間があると捉えられれば、本当にプラスになると思います。この一年、世界と比較して日本がどれだけ成長できるかがオリンピックでの優勝に大きく関わってきます。この延期をプラスにできるかは自分たち次第なので、いい形で成長していきたいと思っています。

——クラブは活動休止していますがご自宅で行っていることは？

初木 なるべく人通りが少ない時間を狙って外に走りにいったり、あとは家の中で筋トレをしたり、コーデイネーションのトレーニングをしています。家に小さな庭があるので、そこでボールを触ってボールフィーリングを養っています。

——ご自宅でのトレーニングはどのような指針で行っているのでしょうか。

初木 チームのフィジカルコーチがメニューを送ってくれます。あとは自分がやってきたことや、個人的にトレーニングを願っている方のメニューの中から自宅で行えるものを取り入れながら。ヨーロッパの選手のように

に自宅に充実したトレーニング施設があるわけではありませんが、それでも家でできる器具があるのであれば通販で買って、庭でラダートレーニング(※)をしたりと工夫をしています。この状況になって初めて自宅にトレーニング器具をそろえたいと思いました。

※ラダーという一定の間隔に並べられたはしのような器具を使ってさまざまな種類のステップを踏んで行うトレーニング

——リーグ戦開幕に向けてどのようなことをモチベーションに取り組んでいるのでしょうか。

初木 いつ再開するか予想するのは難しいですし、これも自分たちでどうこうできるものではないので、逆算も難しいですね。今、この状況で自分のフィジカルやコンディションを少しでも向上させるためにできることを毎日やっていくことが大切だと思います。

——今、サッカーファミリーに伝えたいことは。

初木 誰かと一つのボールを通じてサッカーをすることができなくなっている今は、とても寂しい時間ではありますが、新型コロナウイルス



ウェブ会議システムを使用して自宅から取材に応じてくれたATHLETA

イルスが終息したら、また新たに自分たちで築けるサッカーの魅力があると信じています。いろいろなものが止まっている現状を乗り越えた後、新たな魅力を発信していくことができれば多くの人がサッカーの価値をあらためて評価してくれるのではないかと思います。

今、できることは少ないですが、また自分たちが大好きなサッカーをするためには、この状況を早く終わらせることが必要です。不必要な外出を控えたり、政府の発表に従って行動することがサッカー選手として評価されるポイントにもなると思うので、そこは胸を張って、サッカー選手はルールを守りながら工夫をして準備をしているよということも多くの人に知ってもらえればいいと思います。

YOSHIKAWA Tomoki

自分が決めたことを徹底的にやる

スペインで最高峰のフットサルを経験し、帰国後は名古屋オーシャンズでプレー。

フットサル日本代表でも中心選手として活躍し、昨年、アジアサッカー連盟から年間最優秀フットサル選手として表彰された。

アジアを代表するフットサル選手 吉川智貴が語る「フィジカル」とは。

○オンライン取材日：2020年4月19日



吉川智貴

(名古屋オーシャンズ)

インタビュー

長距離、短距離 とりあえず走っていた

「フットサルをプレーする上でフィジカルはどれくらい重要だとお考えですか。」

吉川 現代のフットサルでは、フィジカルが特に大事な要素の一つという印象です。プレーしていても、映像を見ているでも、1対1のプレーの強度が高くなっています。フィジカルはフットサルをする上で必要不可欠だと思います。

「フットサルで求められるフィジカルは何ですか。」

吉川 サッカーもフットサルも、ポジションによって求められるものが異なります。ピヴォ(※1)であれば、相手を背負う力強いプレーが必要ですし、ピヴォと対峙することの多いフィクソ(※2)も、1対1の競り合いに強くあることが要求されます。アラ(※3)は、走力と俊敏性などが求められます。アラとしてプレーする自分のスタイルを考えると、走れなくなったら終わり

ですから、走力を維持することを意識しています。

一方で、筋トレは昔もプロになっただけからほとんどやっています。体鍛えることのベースは走ることだと思っていて、走っていない必要筋肉が付くのではないかと考えてトレーニングをしてきたんです。

※1 サッカーのフォワードのように最前線で点を狙う選手

※2 サッカーのディフェンダーのように後方で守備の要となる選手

※3 サッカーのミッドフィルダーのように攻守に絡む選手

「とはいえ、名古屋のフィジカルコーチは、筋トレの重要性も説いていたのでは。」

吉川 そうですね。フィジカルトレーナーに「こういうことが大事だよ」と教えてもらい、パワー系のトレーニングの重要性も分かってきました。また年齢を重ねるにつれてけがも増えてきて、何かを変えていかなければいけないと感じていたこともあり、ここ2、3年はウェイトトレーニングを行って

ます。それによってけがも減っている感覚がありますし、フィジカル面の衰えも感じません。今後が続けることが大事だと思っています。

「若い頃にやっていた良かったと思うトレーニングはありますか。」

吉川 やはり、走ることですね。長距離でも短距離でも、とりあえず走っていましたから(笑)。少し長めのダッシュを入れたり、ラダーを使ったり、サーキット系のトレーニングをする中でステップやジャンプを組み込んだりと、自分なりに工夫していました。そのときの「貯金」が今もあるので、走っておいてよかったなと思います。

僕は、走ることで自然と体幹が強くなったタイプだと思っんです。走ってきたおかげで、試合中に当たり負けすることも少ないのかなと。ですから、相手と競り合ったときに自分が悪いと感じるのであれば、ウェイトトレーニングを始めた方がいい。全ては自分の体を理解した上で行うことです。

「フィジカルコーチがいないチームの選手、育成年代の選手に向けて、何かアドバイスはありますか。」

吉川 試合や練習でプレーしてい

る時に、自分に何が足りないかを感じ取ろうとすること。まずは意識することからです。自分に対してどれだけ敏感になれるかは、フィジカルコーチがいる・いない、環境の良し悪しにかかわらず、上達するための一つの鍵だと思います。

——吉川選手はスペインでもプレーしていましたし、日本代表として数多くの国際試合も戦っています。外国籍選手との差を感じることはありますか。

吉川 フィジカルでは日本人とスペイン人は、全く変わらないと思うんです。走力に限って言えば、日本人の方が走れると思うくらいです。もちろん、フットサルスペイン代表のソラーノ選手のように、ずば抜けたフィジカル能力を持つ選手もいます。でも、平均的には日本人選手は決して負けていないはずで、自分の体に合ったポジション、プレーを考慮して、自分がどういうプレーヤーになりたいのか。そこから逆算してトレーニングをすることが大切だと思います。

目標を可視化し 意欲を掻き立てるのも手

——世界中が新型コロナウイルスの影響を受けている今、吉川選手

ほどのような取り組みを行っていますか。

吉川 チームでは、オンラインで全体トレーニングをしています。家でパソコンを見ながら、軽くジャンプやステップを踏み、できる範囲で心拍数を上げています。それを、1時間から1時間半くらいやっていきますね。自分は全体練習の前に1時間、全体練習後もランニングをしています。ただ残念なことに、ボールを全く蹴っていません。

——フットボールの選手がボールを蹴ることができない、難しい時間ですね。

吉川 今は普段できないことができる時間だと、ポジティブに捉えるしかありません。

——食事など、日常生活で意識していることは？

吉川 いつも通りに過ごすようにしています。奥さんにしつかり食事を作ってもらい、栄養を取って、よく眠る。もともと、シーズン中もオフ期間も生活の流れを変えないタイプなので、今も日々のサイクルを送る中で苦になることはありません。運動量が少ない場合は食事の量を減らしたりはしますが、それ以外

外は本当に何も変えません。

——フィジカルトレーニングなど、肉体的に負荷がかかる練習に取り組むにあたって、メンタルはどう整えていますか。

吉川 シンプルにいうと「自分に負けない」こと、それだけです。自分が決めたことをやる。自分はそれしかやってきていないので、逆に説明するのは難しいですね。目標を決めて、それに対して自分には何が足りないかを考え、必要と分かっただけのものを徹底的にやるのが秘訣だと思います。

——いつから、習慣化することができようになりましたか。

吉川 名古屋に来てプロになり、フットサルに専念するようになってからは生活にリズムが生まれ、より一層、自分に厳しくできる環境に身を置いたことで、目標も変わっていききました。かつてはフットサル日本代表に入って活躍することが目標でしたが、今はAFCフットサル選手権に勝ち、FIFAフットサルワールドカップでできる限り良い結果を残すこと、と

いった具合です。

よく「自分の目標を紙に書こう」とか、「見えるところに貼っておこう」と言いますよね？ 自分に厳しくできない人は、ターゲットを可視化することによって自らをそこに導くことが大事かと思えます。もっとも自分は常に目標を頭の中に留めていました。

——その下地はいつできたのでしょうか。

吉川 高校時代だと思えます。滋賀県の草津東高校という、県でも有数のサッカー強豪校に進学しました。サッカー部は一年生に40人前後がひしめく大所帯で、最も下の

最後に、フットサル日本代表のキャプテンとして読者へのメッセージをお願いします。

チームに割り振られました。同級生に一学年上のチームでも活躍するほどのうまい選手がいたんですが、彼はものすごい努力家でした。その選手と話をしたり一緒にボールを蹴ったりするうちに、自分もあの真摯にサッカーと向き合うようになっていきました。今の自分の基盤をつくってくれたのは、練習に付き合ってくれたその同級生です。そういう仲間との出会いは貴重です。周りの人から学ぶことは多いですし、出会いがあることもチームスポーツの良いところではないでしょうか。

吉川 今回の新型コロナウイルス感染拡大に伴う活動自粛期間が明けたら、サッカーだけではなく、Fリーグもぜひ見に来てほしいと思います。選手もチームもリーグも、頑張っただけというのではなく、頑張り盛上げようとは思っています。選手もチームもリーグも、頑張り盛上げようとは思っています。一度会場に来て、フットサルを体感してもらいたいです。今年はFIFAフットサルワールドカップも予定されていますし、ぜひ、僕たちと一緒に戦ってください。



クラブでも代表でも中心選手として活躍する吉川。現在の礎を築いたのは高校のサッカー部時代。ストイックな仲間の背中を追っているうちに「自分もそうなっていた」と語る

FIFA 11+

<https://www.jfa.jp/medical/11plus.html>

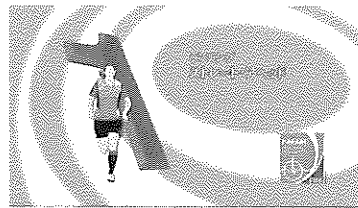
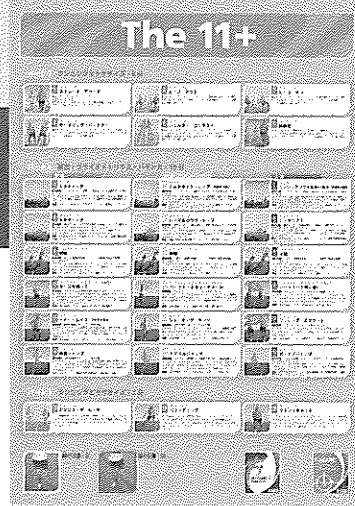
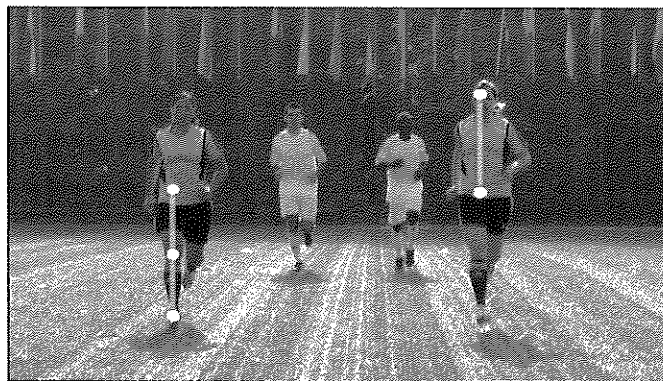
FIFAとF-MARC(FIFA Medical Assessment and Research Centre)は、グラスルーツを含め、多くのサッカー選手の外傷・障害予防のためにウォーミングアップトレーニング方法を開発した。

2003年に「FIFA 11」として始まったが、より効果的に、より現場に導入しやすいトレーニング方法として改善した「FIFA 11+」が06年に発表された。

このトレーニング方法は、サッカー選手の体幹やバランス能力、跳躍力などを総合的に高めるとともに、前十字靭帯(ACL)損傷や肉離れ等の障害予防を目的としており、特に成長期(小学生～中学生年代)の選手に有益なものとなっている。

道具を必要とせずにピッチ上でできるトレーニングで、徐々に心拍数を上げていくようにパート1からパート2、パート3と3段階で構成されている。また、パート2は初級、中級、上級の3つに分かれており、レベルに合わせて取り組むことができる。

JFA公式ウェブサイト日本語版のPDFや動画が公開されている。



JFAチャレンジゲーム

https://www.jfa.jp/football_family/challengegame/

JFAチャレンジゲームは、JFA技術委員会キッズプロジェクトが作成した、子どもに必要な動きを徐々にステップアップしながら身につけていく個人向けプログラムで、8歳までを対象とした「めざせクラッキ!」、9歳以上を対象とした「めざせファンタジスタ」の2部構成になっている。

ボールが一つあれば一人でできるものがほとんどで、広い場所がなくても行うことができる。いずれもオフィシャルブック・DVDがオンラインで販売されている。

めざせクラッキ!～ボールはともだち

ステージ1からステージ6と段階的に設定されており、動きづくりを中心にバランスよく全身運動ができる。5歳から8歳程度までを対象に作られているが、初心者でも楽しめる内容となっている。

チームや練習のツールとして、また、親子のコミュニケーションツールとしても活用できるものだ。

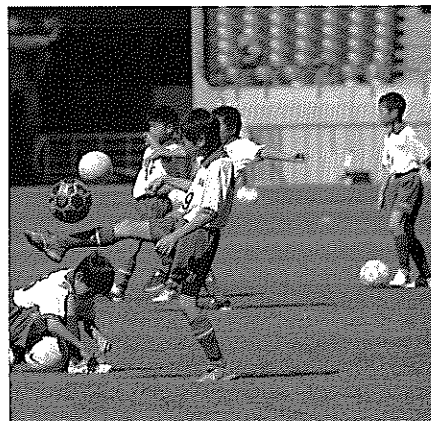


フィジカルプログラム ツール紹介

フィジカルの向上に対してはさまざまなアプローチ方法がある。ここではフィジカル面をサポートするために日本サッカー協会(JFA)や国際サッカー連盟(FIFA)が作成したツールを紹介する。

「めざせファンタジスタ! ～ボールを意のままに」

JFAチャレンジゲームの中級～上級者版。ステージ7からステージ20まで段階的に設定されており、個人で練習してテクニックを伸ばしていくことを目的としている。9歳程度から大人までを対象に設定しており、個人やチーム、あるいは、スクールの練習のツールとして活用することができる。



育成年代向けコンディショニングプログラム

https://www.jfa.jp/grass_roots/sportsassistyou/conditioning_programme.html

グラウンドなど広い場所でトレーニングできないときやボールを使えない状況でも取り組めるセルフコンディショニングメニューを多く紹介している。コアエクササイズ、ムーブメントプレパレーションは中高生向けに実施の回数や秒数の目安の入った映像になっており、各自の練習状況に応じて取り組むことができる。

プログラムは、以下の4つのトレーニングで構成されている。

- ① **コアエクササイズ**：全身のバランスを整え、体幹を鍛えるトレーニング。
- ② **ムーブメントプレパレーション**：パフォーマンスの向上やけがの予防を目的に、練習や試合前に、身体をあたためながら、一つ一つの関節まわりの筋肉を柔らかくするためのトレーニング。
- ③ **インディビジュアルトレーニング**：選手一人一人の弱い部分を強化するためのトレーニング。目的に応じて必要なトレーニングを組み合わせる。



- ④ **リジェネレーションストレッチ**：練習や試合後に、筋肉を元の状態に回復させるためのトレーニング。次の練習や試合に向けた第一歩でもあり、とても大事なトレーニング。

DVDが日本サッカー協会Official Online Shop(<https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/gr5/gd11>)で購入できるほか、JFA.jp内で期間限定で公開されている(5月31日まで)。



3つのプログラムを無料公開中!～スペシャルステージも実施

JFAは公式ウェブサイト(JFA.jp)内で「Sports assist you ～いま、スポーツにできること～」と題して、新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため自宅待機している人々に、一人でも、また室内でも取り組むことで健康の維持、促進につながるコンテンツをインターネット上で配信している。

その一環として「JFAチャレンジゲーム」と「育成年代向けコンディショニングプログラム」の動画コンテンツを期間限定で無料公開している(5月31日まで)。

また、JFAチャレンジゲームの特別検定

「JFAチャレンジゲーム スペシャルステージ」も実施している。チャレンジゲームで学んださまざまなテクニックを組み合わせた「ゴールド」「シルバー」「ブロンズ」の3つのスペシャルステージの課題をクリアして、その動画を投稿すると課題の合格者は氏名・チーム名等がJFA.jpに掲載され、参加者全員に参加賞として日本代表グッズをプレゼント。さらにステージごとに抽選で各100名様に日本代表レプリカユニフォーム等の賞品が当たる。年齢・性別、プロ・アマは問わない。詳しくはJFA公式ウェブサイトへ。



新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業

GOALS beyond COVID-19

～この危機を、ともに乗り越える～

日本サッカー協会(JFA)は新型コロナウイルス感染拡大による影響で存続の危機にあるクラブ(チーム)やスクール事業者を救済するため、5月14日の第6回理事会で「新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業」を展開することを決定した。

この事業に関しては、同理事会に先立って4月14日にJFAサッカーファミリー支援対策本部を立ち上げ、具体的な対策案と制度設計を行ってきたもので、5月7日に電話相談窓口を設置して問い合わせに対応するとともに、JFA公式ウェブサイトの特設サイトを開設して仮申請をスタート。理事会の承認をもって正式に運用が開始された。

(1)支援事業と対策本部

事業名 : 新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業

スローガン : GOALS beyond COVID-19
～この危機を、ともに乗り越える～

対策本部名 : JFAサッカーファミリー支援対策本部

(2)事業骨子

- ①相談窓口設置
- ②財政支援(JFA直接支援)
- ③現状調査
- ④登録料免除
- ⑤寄付金口座の創設ほか
- ⑥情報発信
- ⑦FIFA・国際対応
- ⑧その他(政府対応、医療機関支援等)

(3)第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)の実施

「②財政支援(JFA直接支援)」の具体的な施策として、新型コロナウイルスの影響で財政的な課題を抱えているクラブ(チーム)等を対象とした財政支援事業(第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型))を実施する。なお、これに伴い、「第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)規程」を定める。

(4)第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)の審査機関(審査特別委員会)の設置

制度に基づく、申請案件の融資決定のための審査機関として、以下の委員から構成する審査特別委員会を設置し、理事会で承認された予算枠の中で、審査特別委員会により、審査・融資決定を行う。

[サッカーファミリー財政支援事業審査特別委員会 委員構成]

田嶋幸三(会長)※委員長
須原清貴(専務理事・財務委員長)
植田昌利(常務理事・(公財)東京都サッカー協会副会長兼専務理事)
徳田 康(理事・(公財)愛知県サッカー協会専務理事)
里崎 慎(外部有識者・デロイトトーマツファイナンシャルアドバイザー合同会社スポーツビジネスグループ ヴァイスプレジデント)
佐藤太郎(監事)
湯川和之(事務総長)

(5)登録料免除について

「④登録料免除」の具体的な施策として、新型コロナウイルスの影響で経済的に困窮している選手を対象とし、2020年度のJFA選手登録料を免除する。

(6)寄付金口座の開設、用途、配分方法の決定

「⑤寄付金口座の創設ほか」の具体的な施策として、新型コロナウイルスに関するサッカーファミリー間の相互支援の仕組みの一つとして、寄付金口座を開設する。

- ・口座:みずほ銀行 渋谷支店
- ・名称:新型コロナウイルス感染症対策JFAサッカーファミリー支援金

(7)協会納付金の免除

2020シーズン(原則的に2021年3月31日末までに開催される競技会)に限り、『加盟団体規則』に定める、JFA主催以外の有料競技会を開催する場合の、主催者による入場料収入の3%相当額のJFAへの納付を定めた「協会納付金」を免除する(JFAが主催、共同主催または後援する有料競技会においても同様)。

(8)本事業の位置づけ

一連の「新型コロナウイルス感染症対策JFAサッカーファミリー支援事業」は、『定款』の第4条(事業)に定める「その他この法人の目的を達成するために必要な事業」、そして、JFAの公益目的事業として「災害復興支援事業」の一環で実施する。

(9)その他

今回の新型コロナウイルスの影響は、グラスルーツのクラブに限らず、Jリーグやなでしこリーグ、Fリーグ等のリーグや連盟組織、そして、その加盟クラブ、さらには都道府県サッカー協会や9地域サッカー協会などにも及んでいる。

こうした連盟や協会組織への対応は、別途6月以降の理事会で協議する。

※支援事業の詳細は次ページに掲載

新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援事業

本支援事業の詳細は、特設ウェブサイト「JFAサッカーファミリー支援窓口」でご確認いただけます。

JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト：
<http://www.jfa.jp/ffsupport/>

■第1次サッカーファミリー財政支援事業(融資型)

新型コロナウイルスの影響で財政的な課題を抱えているクラブ(チーム)を対象とした、融資を計画しています。クラブ(チーム)の財政状況などでお困りの場合などの緊急支援です。詳細は、JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト内『財政支援事業の手引き』をご参照ください。

【概要(抜粋)】

目的：本財政支援事業は、新型コロナウイルス感染症の危機を乗り越え、その収束後、これまでどおり、だれもが、いつでも、どこでもサッカーを楽しむことができる環境を維持することを目的とする

対象：サッカー・フットサル・ビーチサッカーのクラブ(チーム)、もしくはスクール事業者(以下、「クラブ等」という)

※クラブ等は、法人格の有無を問わない

※クラブ(チーム)の場合、JFA登録の有無を問わない

※ただし、Jリーグ加盟クラブ(J1、J2、J3)、JFL加盟クラブ、なでしこリーグ加盟クラブ(1部、2部のみ)、Fリーグ加盟クラブ(ディヴィジョン1・2)およびその下部組織は、リーグ・連盟を通じた支援等を別途検討するため、対象外とする。

方法：第1次財政支援は、申請するクラブ等に対し、JFAが必要な資金を融資する

※JFAが集める寄附金額等に応じて、JFAはその返済を一部免除することを可能にする

申請期間：2020年5月14日～6月末まで申請受付

返済期限：最長10年(初回返済は2023年度まで延長可能/返済完了は最大2032年度まで)

利息：無利息

担保：無担保

申請条件：以下の申請条件1・2・3・4の全てを満たすこと

【申請条件1】クラブ等の活動実績

2019年のチーム活動、もしくはスクール(サッカー教室等)活動の実績があること

【申請条件2】クラブ等の規模

アイウエのどれかに該当すること

ア)「有給コーチ(専任)」が少なくとも1名以上いるクラブ等

イ)「アルバイトコーチ」が5名以上いるクラブ等

ウ)クラブ等で自己占有している「ホームグラウンド」を有するクラブ等

エ)毎月の「借入金返済額等」が100万円を超えるクラブ等

※上記アイウエの用語の定義は『財政支援事業の手引き』を参照

【申請条件3】収入減少

4月(もしくは5月)の月次の収入が対前年度同月比で半分以上減少していること

【申請条件4】クラブ等の環境維持

クラブ等は指導者の雇用など、環境の維持に最大限努めること

対象の公表：JFA.jp上で融資先を公表

融資限度額：融資限度額は、クラブ等の規模に応じて30万円から500万円とし、融資限度額の算出は、下記の通りとする。

＝融資限度額の算出方法＝

- ・クラブ等(申請者)が法人格を有する場合
下記ABCDEFの合計額、または総額500万のいずれか小さい額
- ・クラブ等(申請者)に法人格がなく、任意団体の場合
下記ABCDEFの合計額、または総額200万のいずれか小さい額

(融資限度額の算出方法)

(A) 有給コーチ (専任) 数	(B) 有給コーチ (アルバイト) 数	(C) コーチ非兼任の 専任有給スタッ フ数	(D) ホームグラウンド 数	(E) クラブハウス 事務所	(F) 借入金 返済額等
人数 ×30万円	人数 ×6万円	人数 ×30万円	サッカーピッチ面 数×100万円 フットサルピッチ またはビーチサッ カーピッチ面数 ×60万円	一律 20万円	1カ月分の借入 金返済額等の 額(ただし上限 100万円)

対象経費：本融資による貸付金の使途は、コーチの給料、クラブハウス家賃・水光熱費、グラウンド土地代等、団体およびクラブ等の存続を目的とした使途に限る

その他：法人格を有する登録チーム以外が申請者(契約者)の場合は、連帯保証人を必要とする。融資後、JFAはクラブ等の活動報告・収支報告等の提出を求めます(活動のモニタリング)

【申請方法】

原則的に、全てウェブ申請となります。JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト内申請フォームより、申請に必要な情報を添えて送信してください。

申請期間は2020年5月14日から6月末日までとなります。申請後、申請者さまのE-mailアドレスに、申請受理の一次メールが届きます。なお、フォーム入力是一次保存ができないため、必要な情報はお手元にご準備ください。

※その他、「申請に必要な情報」「審査」「契約と振込」「ご返済」など支援事業の詳細は、JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト内『財政支援事業の手引き』をご参照ください。

※条件に当てはまらない場合や、その他のお困りごとは「お困りごと入力フォーム」をお願いします。

【JFA財政支援に関する問い合わせ先】

TEL 050-2018-1999（受付時間：平日 10:00～17:30）

※電話がつながりにくい場合は「お困りごと入力フォーム」をお願いします

■お困りごと入力フォーム

新型コロナウイルス感染症に関連するご意見やお困りごとなどは、JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイト内「お困りごと入力フォーム」よりお寄せください。今後の対策の参考とさせていただきます。

■登録料免除

新型コロナウイルスで経済的な影響を受けた登録者（あるいは登録予定者）に対し、特別措置として、2020年度のJFA選手登録料（分担金）の免除対応を実施します。

対象：・サッカー選手個人

・フットサル選手個人（ビーチサッカーを含む）

※2020年度初回登録時のみを対象

■免除額は各登録料のうちJFA選手登録料（分担金）にあたる金額（詳細は下表の通り）

種別	サッカー選手	フットサル選手
第1種	2,000円	1,000円
第2種	1,000円	700円
第3種	700円	500円
第4種		
女子	リーグ/一般/大学	18歳以上 2,000円
	高校/クラブ高校	18歳未満 1,000円
	中学/クラブ中学	15歳未満 700円
シニア	1,500円	

申請：各チームにて、所属選手の免除希望を取りまとめ、登録責任者等のチームを代表される方からチーム単位でJFA宛に申請してください。申請フォームはKICKOFFを通じて、チーム宛に別途ご案内します。

※申請手続きの詳細はJFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイトをご参照

【地域・都道府県サッカー協会等の登録料（分担金）について】

今回、JFA選手登録料（分担金）については、支援希望のあった方に対して免除の措置を行います。地域・都道府県サッカー協会や各種連盟分の登録料につきましては、各団体の自主判断に委ねさせていただいておりますので、登録料（分担金）の主旨をご理解いただき、各団体の判断に準じてご対応ください。

■新型コロナウイルス感染症対策 JFAサッカーファミリー支援金口座

使途：・JFAが行う「新型コロナウイルス感染症対策JFAサッカーファミリー支援事業」

※クラブ等への財政支援事業（融資型）の返済額の免除への活用も含む
具体例）選手がサッカーを楽しむ機会を存続させるため、クラブ（チーム）の支援に活用されます。

・その他、JFAが行う新型コロナウイルス関連の9地域/47都道府県サッカー協会、リーグ、連盟等への支援
具体例）中止や延期による影響を受ける各種団体の大会や普及・育成事業、指導者養成事業や審判養成事業などの活動支援に活用されます。

募集期間：2020年5月14日（木）～

支援金口座：みずほ銀行（0001） 渋谷支店（210）

普通預金 口座番号3079244

公益財団法人日本サッカー協会

新型コロナウイルス感染症対策支援金口

※振込手数料をご負担ください。

※クレジットカード決済による寄付も準備しています（準備でき次第公開）。

税制上の優遇措置：日本サッカー協会への寄付金は、特定公益増進法人に対する寄付金となり、税制上の優遇措置が適用されます。

※詳しくは国税庁のウェブサイトでご確認ください。

※領収証の発行をご希望の方は下記フォームにご記入ください。

<https://forms.gle/GVnxj6q6kj9QfzMT8>

支援者からのメッセージ：ご支援いただいた方からメッセージを募集します。

<https://forms.gle/6V1PXCRStF5q4M467>

※メッセージはJFA公式ウェブサイト内で公開する場合があります

JFAサッカーファミリー支援窓口ウェブサイトでは、その他にも下記内容を含めて関連情報を随時更新していきます。

- ・第1次サッカーファミリー財政支援事業（融資型）に関するよくあるお問い合わせ
- ・クラブチーム向け支援制度のご紹介（政府関連）
- ・クラブ支援活用事例
- ・登録指導者リフレッシュポイント獲得期間の延長 など



JAPAN NATIONAL TEAM

Japan National Team would like to thank its partners for their support.

SAMURAI BLUE



©JFA/キリンチャレンジカップ2019 対ベネズエラ代表戦 先発メンバー (2019.11.19)

OFFICIAL PARTNER



OFFICIAL SUPPLIER



SUPPORTING COMPANIES



日本高校サッカー選抜、デュッセルドルフ国際ユース サッカー大会の参加を中止 ※3月13日発表

JFAは3月13日、第58回デュッセルドルフ国際ユースサッカー大会（4月9日～15日/ドイツ）に出場予定だった日本高校サッカー選抜の参加を中止することを決定した。全国高等学校体育連盟サッカー専門

部が選手の健康を最優先に考えて協議した結果を受けてのもの。なお、遠征前に国内で予定していた合宿も全て中止となった。

AFCチャンピオンズリーグ、5月と6月の試合が延期 ※4月14日発表

アジアサッカー連盟（AFC）は4月14日、新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、5月と6月に開催予定だったAFC主催大会の全ての試合が延期になったことに伴い、AFCチャンピオンズリーグ（ACL）

2020においても同時期の試合を延期することを発表した。再開時期は未定となっている。

JFA 第20回全日本O-60サッカー大会と JFA 第14回全日本O-70サッカー大会、 JFA 第19回全日本O-50サッカー大会の開催を延期 ※4月17日発表

JFAは、6月6日（土）から8日（月）に秋田県にかほ市で開催予定だった「JFA 第20回全日本O-60サッカー大会」と「JFA 第14回全日本O-70サッカー大会」について、新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって地域予選開催が困難なため、延期することを決定した。同大会は日程を9月19日（土）から21日（月祝）に変更して開催する予定だ

が、今後の感染状況によって開催可否を再検討することとしている。

また、6月27日（土）から29日（月）に静岡県藤枝市で開催予定だった「JFA 第19回全日本O-50サッカー大会」も延期することを決め、日程を再調整する（4月17日発表）。

天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会 大会方式 ※4月23日発表

JFAは、天皇杯実施委員会において、天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会の大会方式を大幅に変更して開催する方針を固めた（4月23日発表）。

第100回天皇杯は元来、全国88チームによるノックアウト方式で5月23日（土）、24日（日）に開幕する予定だったが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、延期を決定していた。JFAは、各種大会の延期・中止が相次いでいることと、Jリーグのレギュラーシーズンの消化を考慮し、第100回天皇杯は出場チームを50チームに絞った7回戦のノックアウト方式とし、9月に開幕することとした。

9月16日（水）に開幕予定の1回戦には都道府県代表32チームが、9月23日（水）の2回戦からアマチュアシード（HondaFC）と残りの都道府県代表15チームが出場する。Jリーグからは2020明治安田生命J1リーグ上位2チームのみが、12月27日（日）に予定している準決勝から出場。決勝は2021年1月1日（金祝）に開催する。

【天皇杯 JFA 第100回全日本サッカー選手権大会 概要】

スケジュール：

1回戦 9月16日（水）※都道府県代表32チーム出場

2回戦 9月23日（水）

※アマチュアシード、都道府県代表15チーム出場

3回戦 10月28日（水）

4回戦 12月12日（土）、13日（日）

準々決勝 12月19日（土）、20日（日）

準決勝 12月27日（日）※J1リーグ2チーム出場

決勝 2021年1月1日（金祝）

大会方式：50チームによるノックアウト方式

・Jリーグ2チーム（2020明治安田生命J1リーグ成績上位2チーム/決定方法は検討中）

・アマチュアシード1チーム（HondaFC / JFL）

・都道府県代表47チーム（所属する第1種加盟チームで、Jクラブを含まない）

※AFCチャンピオンズリーグ（ACL）出場権については、Jクラブが優勝した場合はACL出場権を獲得。Jリーグ以外のチームが優勝した場合は、AFCクラブライセンス未取得のため、J1クラブに振り替えられる。

日本サッカー協会

2020年JFA・Jリーグ特別指定選手

JFAは下記選手を「2020年JFA・Jリーグ特別指定選手」として認定した。

【2020年JFA・Jリーグ特別指定選手】

選手 : 松本 雄真(まつもと ゆうま)

ポジション : MF

生年月日 : 1999年11月14日

身長/体重 : 176cm / 65kg

所属元 : 新潟医療福祉大学

所属歴 : 柏ラッセルフットボールクラブ⇒尚志高校

受入先 : カターレ富山

認定日 : 2020年4月7日

選手 : 森岡 陸(もりおか りく)

ポジション : DF

生年月日 : 1998年11月20日

身長/体重 : 181cm / 71kg

所属元 : 法政大学

所属歴 : テンマ・サッカークラブ⇒ヤマハジュビロ磐田⇒ジュビロSS磐田⇒ジュビロ磐田U-18

受入先 : ジュビロ磐田

認定日 : 2020年4月7日

選手 : 佐藤 瑠大(さとう ようた)

ポジション : DF

生年月日 : 1998年9月10日

身長/体重 : 183cm / 77kg

所属元 : 明治大学

所属歴 : 羽衣サッカークラブ⇒TachikawaelfFC⇒FC多摩ジュニアユース⇒駒澤大学高校

受入先 : ガンバ大阪

認定日 : 2020年4月7日

※JFA・Jリーグ特別指定選手: サッカー選手として最も成長する年代に、種別や連盟の垣根を越え、「個人の能力に応じた環境」を提供することを目的とした制度。全日本大学サッカー連盟、全国高等学校体育連盟サッカー部、またはJクラブ以外の大学運営(学校法人)のチームに所属する学生選手、もしくは日本クラブユースサッカー連盟の加盟チームの所属選手を対象にJFAが認定した選手に限り所属チーム登録のまま、Jリーグ等の試合に出場可能となる。

サッカーe日本代表

Web Nasri選手とfantom選手がサッカー e日本代表に決定

FIFA(国際サッカー連盟)が主催する24カ国対抗のeサッカー大会「FIFA eネーションズカップ2020」に出場するにあたり、JFAは「FIFA eネーションズカップJFA予選」でサッカー e日本代表を選出することにしていた。しかし、新型コロナウイルス感染拡大が続いていることから3月30日、同予選大会を中止することを決めた。

予選大会が中止になったことによりサッカー e日本代表の選考方法が変更され、2月27日時点(*)の「ESPORTS FIFA 20 GLOBAL SERIES」ランキングで上位を獲得した選手を選出することを決定。PlayStation®4部門には青木太一選手(プレイヤーネーム: Web Nasri / 鹿島アントラーズ)が、Xbox One部門に岡部駿選手(プレイヤーネーム: fantom選手 / SCARZ)が出場する。リザーブメンバーは中島奨選手(プレイヤーネーム: Agu / Blue Unites eFC)。

また、Web Nasri、fantom両選手は、JFAが行う「Sports assist you ~いま、スポーツにできること~」やチャリティー大会に参加するほか、国際大会に向けた強化やeスポーツの普及などさまざまな活動に取り組む。なお、それらの活動も新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、自宅などからの完全なリモートで行われる。

*2月27日時点でのランキング上位が予選大会に招集される予定だったため、この日時点のランキング結果にて決定。

【サッカー e日本代表】

■PlayStation®4部門

選手 : 青木 太一(あおき たいち)

プレイヤーネーム : Web Nasri (ウェブナスリ)

生年月日 : 1999年12月10日

出身地 : 神奈川県

所属 : 鹿島アントラーズ

主な戦績 : FIFA18シーズン: Global Series Playoffs (世界大会) ベスト4、FIFA eWorld Cup 2018本戦出場
FIFA19シーズン: SONYコンチネンタル杯日本予選 優勝、本戦ベスト8、Licensed Qualifier Event (世界大会) 準優勝
FIFA20シーズン: FUT Champions Cup #3 (世界大会) ベスト16

【コメント】JFA初のサッカー e日本代表に選出していただき、また小さい頃から憧れていた日本代表にこのような形でなることができ、非常にうれしく思います。eスポーツに馴染みのない方も多いと思いますが、代表での活動を通して、魅力を伝えられるように頑張ります。

■Xbox One部門

選手 : 岡部 駿 (おかべ じゅん)
プレイヤーネーム : fantom (ファントム)
生年月日 : 1995年8月24日
出身地 : 茨城県
所属 : SCARZ
主な戦績 : FIFA17シーズン:FUT17 Rest of World Regional Final PS4部門優勝、日本選手権優勝
FIFA18シーズン:ESWC Paris Game Week PS4部門ベスト4
FIFA19シーズン:eリーグベスト16
FIFA20シーズン:FUT Champions Cup Stage IV Paris Xbox部門ベスト32

[コメント]サッカー e日本代表に選ばれたことを大変光栄に思います。FIFA20シーズンは個人で世界大会に一度出場しました。結果は悔しいものでしたが、その経験を力に変えて日本のeスポーツシーンのためにベストを尽くします。

【リザーブメンバー】

選手 : 中島 奨 (なかしま しょう)
プレイヤーネーム : Agu (アグ)
生年月日 : 1998年2月10日
出身地 : 熊本県
所属 : Blue United eFC
※リザーブメンバーは代表選手が大会に出場できなくなった際、代理として出場する

Web Nasri選手と岡崎慎司選手が「StayAndPlay eFriendlies」に出場

43の国と地域の代表選手が参加するeスポーツのチャリティー大会「FIFA eNations StayAndPlay Cup」が4月22日～25日の4日間の日程で行われる予定だったが、技術的な問題が発生したことより急ぎょ中止された。

それに伴い、大会はFIFAのチャリティー大会ではなくアジアの4つの国と地域対抗による「StayAndPlay eFriendlies」として開催されることとなり、4月22日～24日の日程で日本、マレーシア、チャイニーズ・タイペイ、シンガポールが参加して行われた。

この大会は、サッカーの各種大会やイベントが延期や中止を余儀なくされている中、自宅でサッカー観戦を楽しんでもらいたいと、サッカーe代表選手と現役のサッカー選手(あるいは著名人)2名がチームを組んで競い合うというもので、各国/地域4チームが総当たりリーグ戦を行って順位を決定。機種やルールなど(「FIFA20」の設定等)は、FIFA eNations StayAndPlay Cupのそれを一部踏襲した。

日本からは、サッカー e日本代表のWeb Nasri選手とJFA eスポーツアンバサダーとして岡崎慎司選手(SDウエスカ)が出場。Web Nasri選手にとってはサッカー e日本代表として初の国際試合出場となった。

大会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からリモートで行われ、岡崎選手はスペインの自宅から参戦した。

各節で第1試合はe代表選手同士、第2試合は各国の現役サッカー選手や著名人同士が戦い、2試合の合計得点で勝敗を決した。初戦、日本はマレーシアと対戦。第1試合はWeb Nasri選手が2-0で勝利し、続く第2試合は岡崎選手が2失点から4-3と逆転し、日本が6-3で勝利した。続くチャイニーズ・タイペイとの第2戦はWeb Nasri選手が2-1で勝ち越すも、岡崎選手が0-3と苦戦し、1勝1敗に。シンガポールとの最終戦、日本が優勝するには5点差以上での勝利が必要となる中、ここまで2連勝のWeb Nasri選手が善戦するもスコアレスドロー。続く第2試合で岡崎選手は0-4と悔しい敗戦を喫し、日本は1勝2敗で3位となった。

■Web Nasri 選手

1勝2敗という残念な結果ではありますが、岡崎選手にも出場してもらい、注目度は高まったと感じています。外出自粛中で、家でテレビをつけるのが減るような暗いニュースが多かったと思うので、この配信を見て少しでも楽しんでいただけたのであればうれしいです。

■岡崎慎司 選手

eスポーツは集中力や精神力の戦いになりますし、指で戦うので実際のサッカーとは違ったストレスがかかります。毎日、どういふトレーニングをしているのかなど気になりますし、Nasri選手をはじめ世界で戦っている選手のすごさを感じました。貴重な体験をさせてもらい、スポーツもゲームもいろんな楽しみ方があると思えました。自宅でストレスを感じていた人に、この大会を見て前向きになってもらえたり、楽しんでもらえていたらすごくうれしいです。(新型コロナウイルスとは)もしかしたら長い戦いになるかもしれませんが、みんなで乗り越えて、また楽しい生活、普通の日常に戻れるように頑張っていきたいと思います。

【大会概要】

- 大会名 : StayAndPlay eFriendlies
※FIFA公式イベントではなく、「FIFA eNations StayAndPlay Cup」から大会名を変更
- 大会形式 : 参加国を「WEST」「CENTRAL」「EAST」の3地域に分けて実施。グループステージ、ノックアウトステージを経て、勝ち上がったチームがファイナルに進出する。地域ごとにそれぞれ優勝を決定する。
- 実施機種 : PlayStation®4 (EA社「FIFA20」のオンラインモード)
- 参加選手 : 各国2名(サッカー e代表選手1名、サッカー各国代表or現役/レジェンド選手or著名人1名)
- 試合形式 : ・チームは2名の選手で構成される。
・グループステージはグループ内総当たり戦で行われる。全ての試合は1対1で実施され、2試合の合計得点で勝敗を決定する。第1試合はe代表選手同士、第2試合は著名人同士の順番で戦う。
・試合時間はゲーム内時間90分(1試合=ゲーム内時間90分は約12分(6分ハーフ))。グループステージでは、90分とアディショナルタイムで勝敗が決定され、勝敗が決まらない場合でも延長やPKは行われない。
・試合のポイントは 勝利:3ポイント、引き分け:1ポイント、負け:0ポイント
・グループステージを終えてポイントが同点の場合、次の順

JFAリリースインフォメーション&活動報告 月刊レポート

番で最終グループランキングが決定。得失点差、得点数、直接対戦結果、それでも決しない場合は大会運営者がコイントスを実施。

・延長戦/グループステージでは延長戦は行われない。ノックアウトステージでは、第1試合終了時に同点の場合、延長戦は行われない。第2試合終了時点で 合計得点が同点の場合、第2試合の直後にゴールデンゴール方式で第3試合を実施する。この勝敗を決める第3試合は、著名人同士によって戦われる。

【日本の試合】

- 4月21日(火) 20:00 日本 対 マレーシア 第1試合 (Web Nasri選手)
20:40 日本 対 マレーシア 第2試合 (岡崎慎司選手)
- 4月22日(水) 20:00 日本 対 チャイニーズ・タイペイ 第1試合
(Web Nasri選手)
20:40 日本 対 チャイニーズ・タイペイ 第2試合
(岡崎慎司選手)
- 4月24日(金) 19:00 日本 対 シンガポール 第1試合 (Web Nasri選手)
19:40 日本 対 シンガポール 第2試合 (岡崎慎司選手)

<配信>

YouTube JFA公式チャンネル JFATV :

<https://www.youtube.com/channel/UCgleUSV91-FfmCayG4ISBcw>

Twitter JFAeスポーツ・サッカー競技公式アカウント @jfa_esports

https://twitter.com/jfa_esports

*"PlayStation"は株式会社ソニー・インタラクティブエンタテインメントの登録商標または商標。Xbox Oneはマイクロソフトグループ各社の登録商標



1勝1敗の中、優勝をかけて第3戦に挑んだWeb Nasri選手(左上)と岡崎慎司選手(右上)



2019年度(令和元年度)決算

Jリーグは3月12日に開催した2020年度第1回社員総会で、2019年度(令和元年度)の決算を下記の通り承認した。

(単位:100万円)

科目	2019 決算 (A)	2018 決算 (B)	増減 (A-B)
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	0	0	0
受取入会金	45	60	▲15
受取会費	1,347	1,337	10
協賛金収益	5,225	4,804	421
Jリーグ主管試合入場料収益	467	179	288
公衆送信権料収益	17,794	17,787	6
商品化権利収益	699	663	36
その他	1,563	2,035	▲472
経常収益計	27,140	26,866	274
(2) 経常費用			
(①) 事業費	27,466	26,362	1,103
リーグ運営経費	3,259	3,160	100
クラブへの配分金	14,863	14,101	762
その他	9,344	9,102	242
(②) 管理費	295	363	▲67
経常費用計	27,761	26,725	1,036
当期経常増減額	▲620	141	▲762
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	▲620	141	▲762
一般正味財産期首残高	3,486	3,345	141
一般正味財産期末残高	2,866	3,486	▲620
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	12	14	▲1
一般正味財産への振替額	▲13	▲25	12
当期指定正味財産増減額	▲1	▲11	10
指定正味財産期首残高	30	41	▲11
指定正味財産期末残高	29	30	▲1
III 正味財産期末残高	2,895	3,516	▲621

※ 100万円未満を四捨五入。端数調整なし

理事・監事、特任理事の選任

Jリーグは4月14日に開催した2020年度第2回社員総会で、理事を下記の通り決定した。

役職	名前	所属
チェアマン(常勤)	村井 満 (むらい みつる)	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
副理事長(常勤)	原 博実 (はら ひろみ)	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
専務理事(常勤)	木村 正明 (きむら まさあき)	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事(常勤)	窪田 慎二 (くぼた しんじ)	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事(常勤)	佐伯 夕利子 (さえき ゆりこ)	公益社団法人 日本プロサッカーリーグ
理事(非常勤)	野々村 芳和 (ののむら よしかづ)	株式会社コンサドーレ代表取締役社長CEO
理事(非常勤)	沼田 邦郎 (ぬまた くにお)	株式会社フットボールクラブ水戸ホーリーホック代表取締役社長
理事(非常勤)	大金 直樹 (おおがね なおき)	東京フットボールクラブ株式会社 代表取締役社長
理事(非常勤)	下川 浩之 (しもかわ ひろゆき)	株式会社セルビア代表取締役会長
理事(非常勤)	薬科 義弘 (わらしな よしひろ)	株式会社川崎フロンターレ代表取締役社長
理事(非常勤)	塚野 真樹 (つかの まさき)	株式会社SC鳥取 代表取締役
理事(非常勤)	榎 徹 (えのき とおる)	株式会社大分フットボールクラブ代表取締役
理事(非常勤)	立石 敬之 (たていし たかゆき)	STVV NV CEO (取締役社長)
理事(非常勤)	為末 大 (ためすえ だい)	DEPORTARE PARTNERS代表
理事(非常勤)	藤沢 久美 (ふじさわ くみ)	シンクタンク・ソフィアバンク代表
理事(非常勤)	藤沢 烈 (ふじさわ れつ)	一般社団法人RCF代表理事特定非営利活動法人新公益連盟 理事・事務局長
理事(非常勤)	馬場 渉 (ばば わたる)	パナソニック株式会社参与 コーポレートイノベーション担当
※理事(非常勤)	須原 清貴 (すはら きよたか)	公益財団法人日本サッカー協会専務理事
※理事(非常勤)	反町 康治 (そりまち やすはる)	公益財団法人日本サッカー協会技術委員会委員長
※理事(非常勤)	歳 俊行 (まゆずみ としゆき)	公益財団法人日本サッカー協会審判委員会委員長
監事(非常勤)	大塚 則子 (おおつか のりこ)	大塚則子公認会計士事務所 代表
監事(非常勤)	山崎 忠史 (やまざき ただし)	株式会社PROPERTY INNOVATION CONSULTING代表取締役
特任理事(非常勤)	小西 孝生 (こにし たかお)	株式会社Jリーグ代表取締役社長
特任理事(非常勤)	外山 晋吾 (とやま しんご)	株式会社ビーネックテクノロジーズ執行役員 欧州事業担当
特任理事(非常勤)	桑 英之 (はた ひでゆき)	ONE CHAMPIONSHIP株式会社 代表取締役社長
特任理事(非常勤)	播戸 竜二 (ばんどりゅうじ)	株式会社MRI12所属 サッカー解説者

※新任・役職変更

・任期は2020年3月12日より2022年3月に開催予定の定時社員総会終結の時までの2年間

(定款第25条(役員任期): 選任後2年以内を終了する事業年度のうち最終のものに関する定時社員総会の終結の時まで)

・役員は、就任する年の4月1日現在で、満65歳未満でなければならない

2020シーズンの大会方式変更

Jリーグは4月15日の臨時理事会において、2020明治安田生命Jリーグの大会方式について下記の通り決定した。理念強化配分金の考え方や消化試合数がクラブによって異なる場合の順位決定方法など、その他の事項については引き続き検討する(4月15日時点)。

【2020シーズンの大会方式】

※下線部分がJリーグ規約からの変更・追加内容

■昇格・降格ルール

1. J2からJ1への昇格はリーグ戦上位2クラブの自動昇格とし、J1参入プレーオフは開催しない
2. J3からJ2への昇格はリーグ戦上位2クラブの自動昇格とする
3. クラブライセンス交付判定を受けていないクラブがリーグ戦上位2クラブとなった場合、3位以下の繰上がり昇格はしない
4. 上記1、2は、各カテゴリーで「基準試合数」以上の試合を開催した場合のみ適用する

※「基準試合数」以上の開催:全試合数の75%、かつ、全クラブが50% (ホーム、アウェイ問わず)を開催。ただし、不測の事態が発生した場合は理事会にて決定する

5. 「基準試合数」を満たさなかった場合は大会が成立しなかったものとみなし、当該カテゴリーにおける順位決定は行わず、昇格は行われぬ。したがって、2021シーズンのクラブ数は、J1:18~20、J2:20~24、J3:14~18となる

■賞金・表彰

1. 各カテゴリーにおいて「基準試合数」を満たさなかった場合は大会が成立しなかったものとみなし、賞金は支払わない。また、各種表彰も行わない
2. 大会が成立しなかった場合の公式記録は参考データとする。選手個人の出場実績(試合数、得点等)は個人記録として算入する

2020シーズンの「Jエリートリーグ」中止

Jリーグは4月15日の臨時理事会で、2020年3月末の開幕を予定していた「Jエリートリーグ」の2020シーズンの実施を中止することを決定した。新型コロナウイルス感染症拡大による財務的な影響と、トップチームの試合開催延期により、Jエリートリーグの日程調整やチーム編成が困難になったことが中止の主な理由。

Jエリートリーグは選手の強化・育成において重要な役割を持つものとJリーグは考えており、2021シーズン以降の実施について引き続き検討す

る(4月15日時点)。

※Jエリートリーグ:参加チームを地域ごとにグループ分けし、各グループでホーム&アウェイのリーグ戦を行う。選手育成を目的とし、試合毎に21歳以下の選手を3名以上エントリーしなくてはならない。またアカデミー所属の選手やJリーグの承認を得た練習生をエントリー可能。

クラブライセンスの交付・取り消しに関する特例措置

Jリーグは4月15日の臨時理事会において、2020シーズン以降のJリーグクラブライセンス制度について特例措置での対応を決定した。

新型コロナウイルス感染拡大によるクラブの財務状況への影響が大きいこと、試合日程延期によってホームスタジアムの確保に支障をきたしていることを踏まえ、Jリーグクラブライセンス交付規則第43条第1項の規

定に基づき対応するもの。

なお、特例措置の対象となるのは、未充足の理由が新型コロナウイルスの影響であると認められる場合に限り、クラブからの申請に基づきJリーグ理事会で決定する。

※詳細はJリーグ公式ウェブサイトを参照

リーグ戦安定開催融資規程に関する特例措置

Jリーグは4月15日の臨時理事会で、「リーグ戦安定開催融資規程」についての時限的特例措置の制定を決定した。新型コロナウイルスの影響による制度融資の実行にあたり、返済期間を3年間とする、担保を不要とする、Jクラブに対する制裁対象としない、などが現行の規程からの主な

変更点。新型コロナウイルスの影響による試合延期や各種活動の制限によって、資金繰り悪化が懸念されるクラブが存在していることを踏まえたもの。

※主な対象項目および特例措置の内容はJリーグ公式ウェブサイトを参照



サッカーファミリー復興支援金

日本サッカー協会(JFA)は、東日本大震災で被災した地域のサッカーファミリーが、これまで通り、サッカーを楽しむことができるよう、サッカー環境の復興を目的に「サッカーファミリー復興支援金」口座を開設しています。集まった復興支援金は、運用細則に基づいて運用されます。

銀行口座 三菱UFJ銀行(0005) 池谷支店(135)
普通預金 口座番号0290461 公益財団法人日本サッカー協会
サッカーファミリー復興支援金口座
※ご利用金融機関が設定する振込手数料はご負担願います。

「暴力等根絶相談窓口」を設置しています

日本サッカー協会(JFA)は、サッカーの活動現場で生じた暴力行為に関する通報を受け付ける窓口として「暴力等根絶相談窓口」を設置しています。

利用方法:

【電話】03-5276-8838

【FAX】廃止

【フォーム】https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSd0TrrvO-Leh64Nomkz4YOCQAVouVihmWIVs3EGjW_ZdkU5w/viewform?usp=sf_link

利用時間: 平日12:00~18:00(土日祝、年末年始等除く)



JFA加盟登録かわら版

～アマチュア選手の国際移籍手続きに関する規則変更～

ご存知の通り、海外のチームに所属していた選手を国内のチームに登録しようとする場合、プロ、アマチュアを問わず国際サッカー連盟(FIFA)の定める国際移籍の手続きが必要となります。これまで、アマチュア選手に関しては、各国のサッカー協会の間で直接、国際移籍証明書(ITC)を取り交わすルールとなっていました。2019年10月にFIFA規則が改正され、アマチュア選手についてもプロ選手の場合と同様にFIFAが提供する「FIFA TMSシステム(FIFA Transfer Matching System)」を通じてITCを取り交わす方法に変更されました(※JFAでは2020年4月1日より上記の手続きに移行)。

なお、FIFA TMSシステムを通じて手続きを行う関係上、アマチュアの選手であっても国際移籍証明書発行申請書(書式第9-2号)にパスポートの写しを添付していただく必要がありますのでご注意ください(パスポートをお持ちでない場合はJFAにご相談ください)。

国際移籍の流れは以下の通りです。

◀国際移籍の流れ(新たな運用ルール:サッカーのみ)▶

- 海外のチームに登録されていた選手を登録する場合、移籍先のチーム(国内チーム)は、JFAの「国際移籍証明書発行申請書(書式第9-2号)」を日本サッカー協会(JFA)に提出します。
- JFAは、FIFA TMSシステムを経由して、選手が在籍していた国のサッカー協会/連盟にITCの発行依頼をします。初めてFIFA TMSシステムを通して国際移籍をする選手の場合は、ITC発行依頼に先立ち、当該国の協会/連盟による、その選手に関する情報の確認作業が必要となるため、過去にFIFA TMSシステムを通して手続きをしたことのある選手に比べると手続き完了までに若干時間がかかる場合があります。
- 当該国のサッカー協会は当該選手について国内手続き後にITCを発行します。
- JFAは、移籍先のチームに当該国のサッカー協会から発行されたITCを送ります。

5. 移籍先のチームはKICKOFFで選手の追加申請手続きを行い、JFAの「国際移籍選手登録申請書(書式第6号)」とITCの写しなどの必要書類を選手の追加登録申請の際にKICK OFFにアップロードします。

6. 都道府県サッカー協会は該当する追加申請を確認の上、承認します。

7. JFAは追加申請を確認の上、承認します。以上で選手のJFA登録が完了します。

上記3において、何らかの事情により、当該国のサッカー協会/連盟から返答がなく、ITCの発行を依頼した日から7日が過ぎた場合は、FIFA規則に従い、JFAで当該選手を暫定的に登録することが認められます(※これまで、この期間が30日間であったため、JFA登録の完了が遅れる場合がありますが、上記のFIFA規則の変更により、7日間に短縮されています)。

なお、国際移籍選手をプロとして登録する場合は、別途必要な手続きがありますので、JFAまでお問い合わせください。

以上の通り、国際移籍を伴う場合は各種の手続きが必要となりますので、大会やリーグが定める登録期限に配慮し、余裕を持って手続きを進めていただきますようお願いいたします。

なお、上記の変更はサッカー選手を対象としており、フットサル選手についてはこれまで通りの手続きとなっています(FIFAのシステムを通じた手続きとはならず、また、暫定登録までに要する期間は30日間のまま)。

書式のダウンロードはこちらから

<http://www.jfa.jp/registration/download/>



「国際移籍証明書発行申請書(書式9-2号)」提出先
info_teamplayer@jfa.or.jp

サッカーなら、どんな障害も超えられる。

日本の人口の7%は障がい者です。その障がいは多様で、ひとつとして同じ在り方はありません。障がいがあっても、いつでも、どこでも、サッカーを心から楽しめる環境を。彼ら彼女らが社会にある"障害"を超えていききっかけづくりやサポートも、サッカーならできる。私たちはそう信じて、日本障がい者サッカー連盟を推進していきます。

障がい者サッカー7団体は、日本サッカー協会と連携し、サッカー界の発展のために取り組みます。



切断障がい



脳性麻痺



精神障がい



知的障がい



電動車椅子



視覚障がい



聴覚障がい

日本アンプティサッカー協会

アンプティサッカーとは、足や腕に切断障がいのある人が行う7人制サッカーです。日常生活で使用する義足・義手を外してロフトランドクラッチで体を支えながらプレーします。

日本ソーシャルフットボール協会

ソーシャルフットボールとは、精神障がいのある人が行うフットサルやサッカーです。基本ルールは健常者と同じで、フットサルでは女子選手を含む場合に最大6人がコートでプレーするなど、一部特別ルールを採用しています。

日本知的障がい者サッカー連盟

知的障がい者サッカーとは、知的障がいのある人が行う11人制サッカーです。フットサルも行っています。ルールは健常者のサッカー・フットサルと同じで、プレーヤーの障がいの度合いにより試合時間が異なります。

日本電動車椅子サッカー協会

国際的にはパワーチェアフットボールと呼ばれ、自立歩行が困難な重度の障がいのある人が多く行う4人制サッカーです。手やアゴでジョイスティック型のコントローラーを操り、電動車椅子でプレーします。

日本CPサッカー協会

CPサッカーとは、脳の損傷によって運動障害がある人が行うサッカーです。Cerebral (脳からの) Palsy (麻痺) の頭文字をとり、そう呼ばれています。

日本ブラインドサッカー協会

ブラインドサッカーとは、視覚障がいのある人が行う5人制サッカーです。転がると音が出るボールを使用し、まわりの声を頼りにプレーします。2004年からパラリンピックの正式種目です。

日本ろう者サッカー協会

デフサッカーと呼ばれる、聴覚障がいのある人が行うサッカーです。サッカーとフットサルがあり、審判は笛だけではなくフラッグも使用するなど、視覚情報を頼りにプレーします。



一般社団法人 日本障がい者サッカー連盟

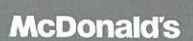
公式ユニフォームサプライヤー



パートナー



支援団体

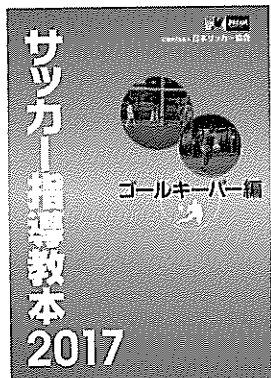




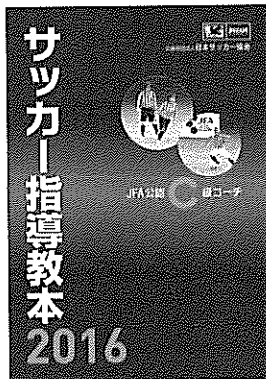
JFA 関連発行物のご案内

JFA公認指導者資格保有者限定

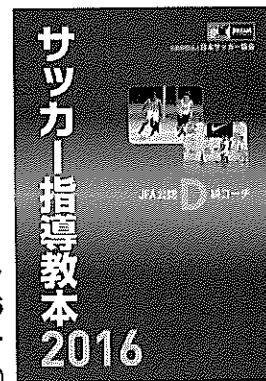
▼購入希望者は、申込書の①をご記入ください



サッカー指導教本・
DVD2017
ゴールキーパー編
▶¥7,700



サッカー指導教本・
DVD2016
JFA公認C級コーチ
▶¥7,700



サッカー指導教本・
DVD2016
JFA公認D級コーチ
▶¥5,230

▼ KICKOFF サイトよりご購入ください (※ KICKOFF サイトのみでのご購入となります。下記 URL からご購入ください)



2018 FIFAワールドカップロシア
JFAテクニカルレポート
▶¥2,970

【内容】
・動画
・補助資料 (PDFデータ)
・補助資料 (電子ブック)
※PDFデータと電子ブックは同一の内容です。
※映像と電子ブックは同時には開けません。

【購入方法】

- ① KICKOFFサイトにログイン
(URL: <https://jfaid.jfa.jp/uniid-server/login>)
- ② 講習会・研修会検索画面より下記の内容で検索
講習会・研修会区分: 「その他研修会」
主催協会: 日本サッカー協会
eラーニングに「」を入れてください
※講習会番号「000R10001891」でも検索ができます。

- ・本コンテンツはリフレッシュポイント付与対象ではありません。
- ・視聴可能期間は2022年10月31日までです。

どなたでも購入できます



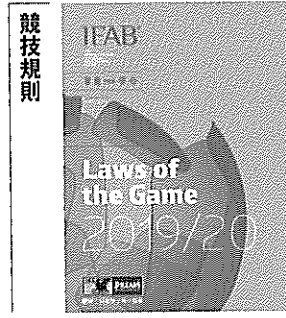
指導指針・ガイドライン
JFA指導指針
(U-10~18) 2017
▶¥2,200

JFA指導指針を改訂しました。今回の改訂では、U-10年代、またU-16年代の先、完成期に近づくU-18年代までカバーしました。そして、全体像、その中での各年代を意識していただくために、分冊とせず1冊にしました。



指導者スキルアップ
第10回フットボール
カンファレンス報告書
▶¥2,640

2017年1月7日~9日に広島県・広島国際会議場で開催した第10回フットボールカンファレンスの報告書です。



競技規則
サッカー競技規則
2019/20

- ▶日本語 ¥1,100
 - ▶英語 ¥1,320
- 国際サッカー評議会 (IFAB) が制定したサッカー競技規則です。
※審判員・審判インストラクター資格をお持ちの方は、KICKOFFよりお求めください。



年間購読
▶¥5,000 (送料込)

JFAが発行するオフィシャルマガジンです。1冊600円、年間購読は送料込で5,000円 (12冊) です。

※毎月1日~14日にWeb申込またはご入金確認が取れたご注文は同月の発行号から、毎月15日~末日にWeb申込またはご入金確認が取れたご注文は翌月の発行号から購読開始となります。

インターネットからも購入できます (クレジットカード決済のみ)

日本サッカー協会 Official Online Shop ▶ <https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※上記サイトでは、JFAが発行するさまざまな刊行物が購入できます。以前とURL、申込方法が変更となっておりますのでご注意ください。
※JFA公認指導者資格保有者・JFA加盟登録チーム限定のものは購入できません。

申し込み方法

FAX送付先：03-5361-6565



専用申込書にご記入の上
FAXにてご連絡ください



お申し込み確認後、
受付番号をご返信いたします



受付番号ご確認後、
お振込みをお願いいたします



ご入金確認後、発送いたします

JFA公認指導者 資格保有者限定	<input type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2016 JFA公認C級コーチ	¥7,700	◎はJFA公認指導者 資格保有者限定の 販売となります。購入 ご希望の際は下記① 欄にご記入ください お一人様1セッ トのみの販売と なります。	
	<input type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2016 JFA公認D級コーチ	¥5,230		
	<input checked="" type="checkbox"/> サッカー指導教本・DVD2017 ゴールキーパー編	¥7,700		
JFA公認指導者資 格保有者・JFA加 盟登録チーム限定	<input type="checkbox"/> 2014 FIFAワールドカップブラジル JFAテクニカルレポート / DVD	¥4,400		
	<input type="checkbox"/> FIFA女子ワールドカップドイツ2011 JFAテクニカルレポート / DVD	¥1,670		
	<input type="checkbox"/> 2010 FIFAワールドカップ南アフリカ JFAテクニカルレポート / DVD	¥4,700		
①	保有資格	<input type="checkbox"/> 級コーチ / <input type="checkbox"/> キッズリーダー		
	指導者登録番号	C		

どなたでも購入できます	JFAnews	<input type="checkbox"/> JFAnews 年間購読 ※年間購読のみご注文の場合は送料無料です	¥5,000 (送料込)	5,000円
	大会レポート	<input type="checkbox"/> JFAテクニカルレポート2013	¥1,310 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> UEFA EURO 2012 JFAテクニカルレポート	¥1,250 × ()冊 =	円
	指導指針 ガイドライン	<input type="checkbox"/> JFA指導指針 (U-10~18) 2017	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-10)指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-8)指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズ (U-6)指導ガイドライン	¥1,100 × ()冊 =	円
	トレーニング教材	<input type="checkbox"/> コンディショニングプログラムDVD (育成年代)	¥2,750 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 小中学生対象 サッカー選手のためのランニングドリルDVD	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 育成年代のコアトレーニングDVD	¥2,200 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズドリル	¥1,030 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> JFAキッズドリル②アイスブレイク集	¥1,250 × ()冊 =	円
	指導者スキルアップ	<input type="checkbox"/> Technical news 対談集 ピッチからのことば~世界のトップ10を目指して~	¥1,100 × ()冊 =	円
		<input type="checkbox"/> 第10回フットボールカンファレンス報告書	¥2,640 × ()冊 =	円
	競技規則	<input type="checkbox"/> サッカー競技規則2019/20 (日本語)	¥1,100 × ()冊 =	円
<input type="checkbox"/> サッカー競技規則2019/20 (英語)		¥1,320 × ()冊 =	円	
<input type="checkbox"/> フットサル競技規則2019/20 (日本語)		¥1,100 × ()冊 =	円	
<input type="checkbox"/> ビーチサッカー競技規則2015/16 (日本語)		¥1,100 × ()冊 =	円	

お振込み先				送料	+550円
三菱UFJ銀行	新宿新都心支店	普通預金	口座番号：1052178	合計	円
口座名義	マッシュコーポレーション(株)				
ご依頼人	○○○○○○○○ (8桁の受付番号)+お申込者氏名				

※ご依頼人様入力の際、申込者氏名の前に下記受付番号を入力してください。
 ※インターネットバンク等でのご入金の際、上記振込み先「口座名義」は、「マッシュコーポレーション(カ)」となります。

- ・領収書の発行はいたしません。払い込み取扱票の払込受領証が領収書となりますので大切に保管してください。
- ・商品の発送は、入金確認後3~5日後にお届けいたします。
- ・お客様のご都合による返品はお断りしております。ただし、お届けした物品が万が一、配送中の事故などで破損キズおよび初期不良の場合には当方送料負担でお取り替えさせていただきます。
- ・海外からの注文も可能ですが、送料は実費となり購入者負担となります。
- ・入金の際、振込手数料は購入者負担となります。
- ・商品到着まで時間がかかる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- ・DVD商品については、国によって発送できないため、購入できない場合があります。

申込者情報 ※お申込者様ご本人以外への発送はできません	チーム登録番号	フリガナ	受付日	
	チーム名	氏名		
	住所	〒()-()		受付番号
	TEL	FAX		

※ FAX受信が不可の場合は、TELのみご記入ください。お電話にて受付番号をご案内いたします。

通信欄	※受付番号返信時、JFAnews 年間購読ご希望者様へ連絡事項を記入させていただきます
-----	---

お問い合わせ先	マッシュコーポレーション(株)	TEL 03-6709-8717
---------	-----------------	------------------

ご連絡いただいた個人情報はマッシュコーポレーション(株)にて厳重に管理し、発送以外の目的では使用いたしません。

※コピーしてご使用ください。



JFL便り

鈴鹿ポイントゲッターズ
<https://suzuka-un.co.jp/>



「日本でいちばん ひらいているまちへ。」

鈴鹿ポイントゲッターズ 選手兼広報 海口 彦太

三重県初のJリーグチームを目指し、鈴鹿ポイントゲッターズは新たな名称のもと、日本のスポーツクラブ経営を全く新しい方法で塗り替えていきます。

JFL初年度となった昨年は12位と不甲斐ない結果に終わりました。巻き返しを図る今シーズンは、チーム名を「鈴鹿アンリミテッドFC」から「鈴鹿ポイントゲッターズ」とあらため、ポイントサポーターズクラブとして生まれ変わりました。

「#誰もいない場所へ行け」というスローガンをもとに、クラブの公式Webサイトにポイント機能を持たせ、選手やクラブに直接寄付できるシステムを導入しました。グッズを買う、試合を応援する以外にも、ファン・サポーターの皆さんがクラブや選手と密接に関わり、一緒になってクラブ運営費を稼いでいく、全く新しい仕組みです。

そして、三重県鈴鹿市を拠点とする鈴鹿ポイントゲッターズは、「日本でいちばん ひらいているまちへ。」というビジョンを掲げています。サッカーを通じて、人、もの、お金、情報、あらゆるものが集まって来なくなるまちをつくれぬか、そして、来てくださった多くの人から「鈴鹿っていいまちだね」と言ってもらうことで、鈴鹿の人たちに自分たちのまちを誇りに思ってもらいたい、それが、鈴鹿ポイントゲッターズの志です。

その一つとして昨年より、JFL&Jリーグ史上初となるスペイン人女性監督のミラグロス・マルティネス・ドミンゲス氏を招へいして、世界をリードするスペインサッカーを取り入れています。「ボールを大事にするサッカー」「賢いサッカー」を浸透させ、理想とする「攻撃的で観ている面白いサッカー」を展開し、今シーズンは4位以内を目標にしています。

このように、多様性の広がるこの社会で、私たちは外からの空気、声、アイデアをどんどん取り入れて、三重にこだわらないことに、こだわり続けています。目と耳をいつでも開いている方へ向け、面白いことを外に吐き出していく。その域は鈴鹿を越えて、ホームタウンはいわば日本中です。

日本中を面白くさせる、世界のSUZUKAを目指して。



「鈴鹿アンリミテッドFC」から「鈴鹿ポイントゲッターズ」へ名称をあらため、2020シーズンに臨む

JFL便り

松江シティ FC
<https://football.matsue-city.com/>



島根県初のJリーグ参入を目指して

松江シティFCトップ強化部 広報 菊谷 華

松江シティFCは島根県サッカー協会 松江支部の代表チームとして2011年4月に発足し、ホームタウンである島根県松江市を中心に活動しています。2024年に島根県初のJリーグ参入を目指し、昨シーズンはJFL初年度を戦いました。リーグでの初勝利は第12節で、その後も苦戦が続き、最終順位は15位と降格は免れたものの課題が多く残りました。今シーズンは昨シーズンの悔しさを晴らすため、11人の選手を補強し、シーズン目標を10位以内と掲げています。

新監督には、実信憲明氏が就任。4シーズン指揮を執った田中孝司前監督のもと、選手兼任を合わせてコーチを4シーズン務めた実信監督は、松江シティFCの従来のスタイルである、ボールを保持して主導権を握る攻撃的サッカーを継続して目指す上で、「勝ちたい気持ちを出せるように」とさらなるレベルアップを誓っています。また、今シーズンのチームコンセプトにハードワークを掲げ、90分間最後まで走り続けることが必要だとしました。

田中前監督の頃から、松江シティFCに関わる全員が掲げている合言葉は「Enjoy Football」です。サッカーを「行う」選手、「観る」サポーター、「支える」スタッフ、松江シティFCに携わる全ての人々がサッカーを「楽しい」と感じることを大切にしています。チームも試合に「勝つ」ことが目標ではなく、「自分たちのサッカーで勝つ」ことを目標とし、どんな相手にもブレないことで自分たちのサッカーを貫きます。

2020シーズンは島根県西部にある県立サッカー場で初のJFLホームゲーム開催を予定しており、今後はホームタウンの松江市だけでなく島根県下での活動も活発に行う予定です。その他、クラブとしての活動はトップチームだけでなく育成部門の強化も図っています。子どもたちが地元でサッカーを続けられる環境づくりや地元出身プロサッカー選手の輩出を目指すため、2021年には新たに高校生のユースチームを設立することとなりました。ユースチームは松江市の隣である雲南市を中心に活動を行います。

今後もさまざまな活動を通して、さらに多くの方々に応援をいただけるクラブを目指します。松江シティFCは引き続き、スポンサーやサポーターの皆さま、クラブに関わる全ての人々と共に、目の前の一試合一試合を選手・スタッフ一同、全力で挑みますので、より一層の力強い応援をよろしくお願いいたします！



JFL参戦2年目となる2020シーズンは「自分たちのサッカーで勝つ」ことを目標に全力で取り組む

なでしこリーグ便り

スフィーダ世田谷FC
<http://www.sfida.or.jp/>



第2回スフィーダ世田谷カップ

スフィーダ世田谷FC 川嶋 珠生

私たちスフィーダ世田谷FCは、日本女子サッカーリーグに所属し、日本における女子サッカーのトップリーグの一員として活動しています。同時に、日本サッカー協会が示す地域密着によるサッカークラブとして、トップアスリートの育成とともに、地域における女子サッカーの普及という役目も担っています。

2019年1月、地域密着型スポーツクラブとして、将来を担う世田谷区内の小学生年代の女子を対象に、世田谷区大蔵総合運動場陸上競技場でサッカーを通じたコミュニティの価値創出を目指した「第1回スフィーダ世田谷カップ」を開催しました。今年は第2回を迎え、世田谷区内の小学生年代全ての女子選手が目標とする大会として位置付けています。世田谷区教育委員会をはじめ、公益財団法人世田谷区スポーツ振興財団、公益財団法人東京都サッカー協会、一般社団法人日本女子サッカーリーグにも新たに後援を賜り、より手厚いサポートの下、運営体制を強化することができました。

同大会は8チーム、総勢100人の女子選手が参加し、リーグ戦を経て、トーナメントにより順位を決定。パディフットボールクラブの優勝で大会を終えました。大会半ばでは、スフィーダ世田谷トップチームによるサッカー教室も実施し、「普段一緒にサッカーをすることのないプロの選手から教えてもらい、すごくうれしかったです」と、参加した選手からもうれしい感想を聞くことができました。

残念ながら新型コロナウイルスの影響で東京オリンピックが延期され、国内スポーツに対する機運は見通しが立たない状況ではあります。しかし、明るい未来への希望を持ち、われわれが今できる取り組みや工夫を継続していくことで、スポーツがより区民の生活の中に浸透し、地域のつながりの希薄化などの課題を解消するという新たな役割を担い、社会貢献の形として絶好の機会となることを期待したいと思えます。微力ではありますが、クラブが担う役目がスポーツ界の発展にますます貢献できるよう思案し、行動していきます。



世田谷区内の小学生年代の女子選手全員の目標となる大会として位置付けている「スフィーダ世田谷カップ」

なでしこリーグ便り

浦和レッズレディース
<https://www.urawa-reds.co.jp/ladies/>



サッカーへの思いを伝えられるように

浦和レッズレディース 監督 森 栄次

まずは、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆さま、および関係者の皆さまに心よりお見舞い申し上げます。また刻々と状況が変わる中、日々最前線に立って尽力されている医療従事者の皆さま、ライフラインを支えてくださる多くの皆さまに深く感謝を申し上げます。

私たち浦和レッズレディースは、緊急事態宣言を受け、4月8日から活動を休止しました。選手、スタッフ、チーム関係者が自宅待機中、選手たちには「まずは、しっかりと自己管理をしよう」と伝えました。全世界が苦しい状況の中で、サッカーも大事ですが、何よりも今は命を守る行動が大切です。その思いをレッズレディースの一員として持ちながら、再開に向けて、一人一人が「今できること」に取り組んでいこうと話しています。そして再開後には、今あらためて感じているサッカーへの思いや、ピッチに立つ喜びを思い切り届けられるようなレッズレディースの姿をお見せできるように準備をしております。

例えば、昨シーズンの最終戦となる皇后杯 JFA 第41回全日本女子サッカー選手権大会決勝戦では、多くのファン・サポーターの方々が会場に駆けつけてくださいました。あの日のスタジアムに広がった景色は忘れがたく、本当にうれしいものでした。国内における女子サッカー最高峰の戦いに足を運んでくださった皆さまの思いや声援は、私たちの励みとなり、あと一歩が出る勇気になったのです。あの光景を、また皆さまと一緒ににつけていきたいと強く感じています。

その思いを胸に、レッズレディースは2020年1月下旬から始動しました。非常に良い状況で手応えを得た沖縄合宿や日々の練習を経て、一丸となって戦うチームに新加入メンバーが融合し、ピッチの上でどのような化学反応を起こすのか、私自身、とても楽しみにしています。悲願のタイトル獲得に向けても、大きな戦力になることでしょ。

そして、シーズンが開幕したときには、レッズレディースらしくアグレッシブに戦う姿をお見せしたい。ピッチで躍動する選手たちの姿は多くの皆さまを勇気づける光になりますし、チームに届く声援は選手たちの力になります。だからこそ、この不測の事態と一緒に乗り越え、再び、サッカー愛する皆さんとスタジアムで、笑顔でお会いできることを心待ちにしています。



サッカーを愛するファン・サポーターとまた会える日まで、レッズレディースは一人一人が「今できること」に取り組んでいく



※本連載は隔月の連載になります

2019年度の活動を終了

海外を含む1,000の小中学校で

「夢の教室」を実施

■2019年度「夢の教室」年間実績・活動記録

- ・実施回数 : 1,989回
- ・実施学校数 : 1,000校
- ・参加児童・生徒数 : 59,700人
- ・実施地 : 46都道府県、海外4地域
- ・実施自治体 : 159自治体(*) / 国内
- ・夢先生 : 324人

* : 各自治体で「夢の教室」実施に関わる経費を負担

JFAこころのプロジェクト「夢の教室」が、2019年度の活動を終えた。

新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、全国の小中学校と高校、特別支援学校が3月から臨時休校になったことから「夢の教室」も延期や中止となったが、2019年度は、海外を含む1,000校で1,989の授業が行われた。

2019年度の実施回数は、JFAこころのプロジェクト史上2番目

「夢の教室」は、2月27日に行われた沖縄県名護市立大宮小学校での授業を最後に2019年度の活動を終えた。新型コロナウイルス感染拡大の影響で25クラスの授業が延期や中止を余儀なくされたが、46の都道府県と海外4地域を含む1,000校の小中学校で実施。最も多かった2018年度の2081回には及ばなかったが、13年間で2番目に多い1989回の授業を行い、5万9700人の小中学生と夢について語り合った。

夢先生は新たにアスリートら96人を加え、324人が「夢の教室」の教壇に立った。また、「JFAこころのプロジェクト」がスタートした翌年に同プロジェクトに関する連携協定を結んだのは3自治体だけだったが、2019年度は159の自治体がこのプロジェクトを行政の取り組みとして実施した。

子どもたちや先生から寄せられた声

「夢の教室」で使用する「夢シート」には将来の夢、それを実現するために必要な努力やプラン、授業の感想などを記入する。夢シートは後日夢先生に送られ、夢先生が一人一人にメッセージを書き込んで、クラス全員で撮影した写真とともに子どもたちに返送される。

夢シートには子どもたちそれぞれ

夢先生：小林弥生さん（サッカー）
ゲームの時間

の新たな決意や気づき、夢先生への思いなどがつづられ、それに応える夢先生の熱いエールが記されている（次ページ参照）。夢先生から届くメッセージに、子どもたちは「夢の教室」で聞いた先生の経験談やクラスメイトとのやり取りを思い返し、再び、夢に向かう気持ちを強くしているのではないだろうか。

また、担任の教師からも「子どもたちの新たな一面を発見できた」「教師だけでは提供できない価値があった」「教師としても、一人の人間としても参考になった」といった感想とともに高い評価が得られている。

今回はそのいくつかを紹介する。夢の教室は小学5年生と中学2年生を対象に行っている。

■児童・生徒の感想要約

1 小学生児童

私は、(所属している)チームでいじめられていました。「女だから」と言われ、仲間はずれにされていました。でも、夢先生の話を聞いて、好きなことを続けることの大切さを学びました。これからも好きなことを頑張っていきたいです。また、夢に向かって一つ一つのことを全力でやっていきたいと思います。

2 小学生児童

「チームワーク」が大切だということが分かりました。誰かが失敗しても「ドンマイ」や「大丈夫だよ」など相手を責めない言葉が大切だと思いました。仲間と協力すればどんなことでもできると思いました。

3 中学生生徒

私には明確に就きたい職業がなく、今までは将来の夢を聞かれても答えることができませんでした。しかし、大きな夢でも小さな夢でも

夢先生：清水利生さん（フットサル）
ゲームの時間

■JFAこころのプロジェクト

2006年2月、「子どもたちの心身の成長に寄与する」ことを目的に日本サッカー協会(JFA)が立ち上げたプロジェクト。現役のサッカー日本代表選手やJリーグ、なでしこリーグ、日本フットボールリーグ(JFL)、Fリーグの選手、そのOB/OGのほか、他競技の現役アスリートとそのOB/OG、さらに、スポーツ界以外の人々が「夢先生」となって小学校や中学校へ赴き、「夢の教室」と呼ばれる授業を行う。授業は、「ゲームの時間」と「トークの時間」からなり、「ゲームの時間」ではさまざまなゲームを通して体を動かすことの楽しさや仲間と協力することの大切さを、「トークの時間」では夢先生が教壇に立ち、夢を持つことの素晴らしさやそれに向かって努力することの大切さなどを子どもたちに伝える。2007年4月に本格的にスタート。

【小学生の夢シート】夢先生：藤村智美さん（サッカー）



夢を持って努力し、それをかなえるためにくじけそうなときでも勇気を出して行動し、応援してくれる人たちに感謝することが大切なのだ。『夢の教室』で学ぶことができました。

4 中学生生徒

「夢の教室」で最も心に残ったことは、「夢や自分の進む道を、他人ではなく自分で決める」という言葉です。授業では手を挙げない児童が、目をキラキラさせて意見を言おうとしていました。魅力ある授業とはこう

1 小学校教師

「一番ありがたかったのは、『夢先生がクラスの様子を事前に聞いてくた

① 授業の夢
習字の先生
自分の教室を開きたい。

② 習字の先生にきれいに見える書き方を教えてもらおう。いつもより長い時間しっかり練習する。

③ 習字・水泳
手芸・習字・水泳

夢先生の教室でわたしは、あきらめないことが大切だと思いました。ふじ先生は、あきらめないでサッカーをずっと続けて2回も日本代表になったことがすごいと思いました。わたしもあきらめないで習字を続けようと思いました。

言葉の力あきらめない

【中学生生の夢シート】夢先生：久保大樹さん（ハラ水泳）



いうものなんだと、とても考えさせられました。また、以前、夢や将来について授業をした際には、そこまで考えられなかった児童も、今回は「一生懸命に考えたり、書いたりしていたように思います。」

2 小学校教師

さり、机列表を見ながら子どもたちの名前を呼び、彼・彼女らに合わせた話をしてくださったことです。学級運営上、すぐに学んだことが生きて働くというのは大変ありがたいです。

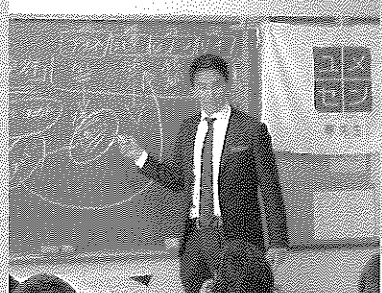
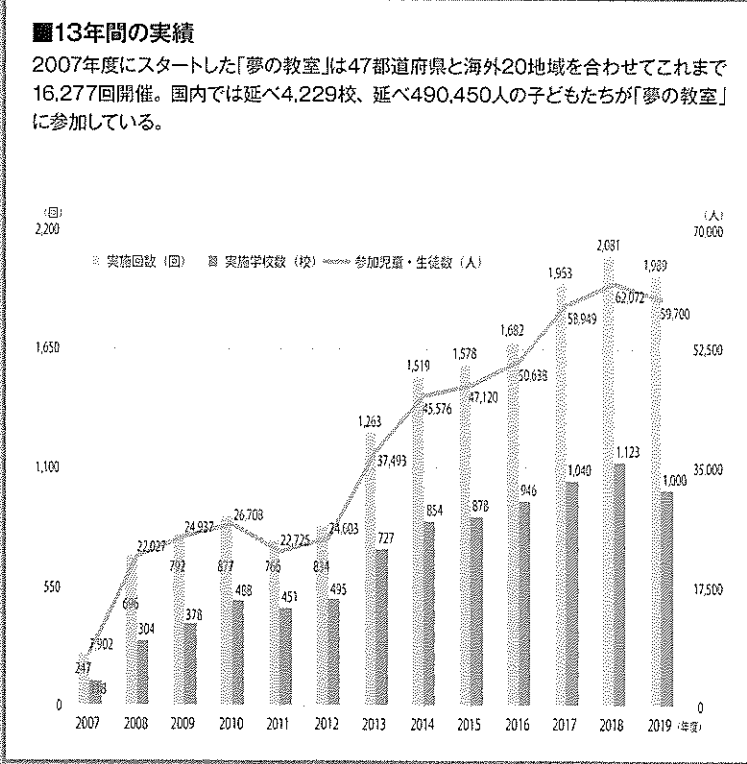
夢
中学3年生
先着が地区大会で入賞したから。Godー9

陸上郎
長距離 1500m

毎回の部活で一生懸命記録を伸ばせるように練習をする。どろぼうはきつてやるぞ!!

夢の教室で先生がいった「言葉」「仲間」のことで、言葉をつかうときは相手の気持ちをよく考えないといけないと思ったし、仲間と協力することは大切なことを学びました。僕は、身近な夢だけでなく努力しないと達成しないと思っている先生のように苦しいことにも逃げずに色々なことに挑戦することをこれからがんばっていきたくと思いました。先生も東京パラリンピックでメダルがとれるようにがんばってください。今回は授業をしていただき、ありがとうございました。

※児童・生徒の直筆部分は活字にして記載。直筆部分が夢先生のメッセージ



夢先生：松田丈志さん（競泳）
トークの時間

3 中学校教師

中学生2年生は職場体験学習があり、働くことについて考え始める時期でもあります。夢の教室は自分の将来について考える良い機会になったと思います。授業後には、キーワードや夢先生の努力が夢の実現につながったことなどについて、子どもたちの心に残ったようです。

4 中学校教師

「人を変えるのではなく、自分が変わると」という言葉にとっても共感しましたし、人間関係が不安定だったり、周りを気にしたりしてしまう思春期の子どもたちにも、生きるヒントになる言葉だったと思います。

今回の新型コロナウイルス禍の中でどうもうれしかったのが、元日本代表監督のアルベルト・サッケローニさんからのメッセージです。4月はじめに日本サッカー協会（JFA）に届き、日本中のサッカーファミリーに発信されました。

「親愛なる日本の皆さんへ」から始まるメッセージは、「私の第二の故郷である日本には、困難に打ち勝つために自己犠牲を払い、他人を思いやって行動できる多くの人たちがいることを知っています」という日本人への賛辞があり、「再び素晴らしき世界を取り戻すという同じ目標に向かって、一致団結して共に頑張っていきましょう」と結ばれています。

サッケローニさんは、2010年、FIFAワールドカップ南アフリカ大会後に監督に就任、14年のブラジル大会まで指揮を執りました。11年AFCアジアカップを見事なサッカーで制覇、ブラジル大会では大きな期待を持たれましたが、1分け2敗という成績に終わり、厳しい批判にもさらされました。

しかし「国難」というより「人類的災厄」と言っているのとき、なかでも自国のイタリア自体が惨憺たる状況になっているときに、自分が代表監督として

いつも心に

連載 Vol.85

大住良之 リスペクト

(サッカージャーナリスト)



本当の友人

4年間を過ごした日本という国や日本人のことを思い、進んで心のもったメッセージを寄せてくれたのには、とても感激しました。そしてこのメッセージは、「日本サッカーの父」と言われるデットマール・クラマーさんのあるエピソードを私に思い起こさせました。

JFAオフィシャルサイトに掲載された会長のウイークリーコラムで、2008年7月、退任直前だった川淵三郎会長(当時)が詳しく紹介しています。

1964年の東京オリンピック、日本代表は優勝候補の一つだったアルゼンチンに0-2から大逆転で3-2の勝利を飾ります。試合後、祝福に訪れるたくさんの人でごった返す日本代表のロッカールーム。しばらくすると、クラマーさんはその人たちを退席させ、選手だけを集めてこう話しました。

「今日は新しい友達を含め、多くの人々が祝福に来るだろう。今日はみんなと喜びを分かち合いたまえ。しかし、今、慰めと励ましが必要なのはアルゼンチンの選手たちだ」

そう話すと、クラマーさんはアルゼンチンのロッカールームに行ってしまったのです。

その言葉と行動の本当の意味がわかったのは、準々決勝のチェ

コスロバキア戦の後でした。序盤のチャンスを生かせず、日本は0-4で完敗。誰も訪れない閑散としたロッカールームで、クラマーさんはこんな話をしたそうです。

「君たちはよくやった。それは僕が一番よく知っている。今日はサッカーのことは忘れよう。しかし、今日、訪ねてくる友達が少ないかもしれないが、今日の友達こそ本当の友達だ」

調子の波に乗っているときに集まる友人たち。しかし困難に直面したときに変わらぬ人こそ本当の友人。川淵さんのその後の人生を支えたのは、チェコスロバキア戦の後のクラマーさんの言葉だったといえます。

いま、世界中がかつて経験したことのない困難な状況に置かれています。ワクチンどころか治療薬も確定していない状況で、唯一新型コロナウイルスの脅威を食い止める方法は人と人が接触しないこと

——。経済活動やすべての文化活動、スポーツ活動が停止されて最も苦しいのは、本来寄り添って暮らす生き物である人間が、その

つながりを断ち切られていることではないでしょうか。

しかし辛いにも、いまの私たちの手には、電話やメールなど、直接顔を合わせなくてもコミュニケーションを取り合う手段があります。そうした手段を使って、クラマーさんのように、辛い状況にある友人たちに「独りで



日本を「第二の故郷」とし、日本のサッカーファミリーへ心温まるメッセージを届けたアルベルト・サッケローニ元日本代表監督(写真は日本代表監督当時のもの)



日本サッカーの発展のため、
さらなる普及や次世代選手育成の促進を。

JFA Youth & Development Programme



OFFICIAL PARTNER



GREENPROJECT PARTNER



JYD SUPPORTER



JYD



日本サッカー協会（JFA）各種委員会の委員長が3月29日に決定した。前号に引き続き、各委員長の意気込みや日本サッカーへの思いなどを紹介する。

財務委員長、コンプライアンス委員長、
100周年記念事業委員長、天皇杯実施委員長

須原 清貴（すはら きよたか）



プロフィール

現職：JFA専務理事
 学歴：慶応義塾大学法学部法律学科 卒業、米国Harvard Business School (MBA) 卒業
 サッカー歴：3級審判インストラクター、たまがわり・グレフェリート・レセンテール・アドバイザー
 職歴：森ドミノ・ヒザ ジャパン代表取締役社長兼COO、キンコース・ジャパン代表取締役社長兼CEO、ベルリッツ・ジャパン代表取締役社長等

組織として継続した成長を

私は4つの委員会を担当させていただいています。まずはコンプライアンス委員会。コンプライアンスという言葉を引きと「法令遵守」という言葉が出てきます。JFAで言えば定款を中心とした諸規定を遵守できているか、同時にそれらが法律や規則に照らし合わせたものかどうか、ということです。しかし、私が考えるJFAにとってのコンプライアンスとは目的やゴールではなく、手段です。つまり、JFAの理念を達成するための一つの手段であるということです。

JFAの理念の下、われわれは正しい行動をしているのか、世の中から期待されていることを正確に理解し、それをしっかりと具現化できるだけの行動を取っているのか、ということをきちんと整理し、理解した上で制度などを作らなければならぬわけです。そういう広い観点からコンプライアンス委員会

を運営していきたいと考えています。

天皇杯 JFA 全日本サッカー選手権大会は、今年度で100回を迎えます。記念すべき年であるとともに、先輩方が積み上げてくださった歴史と伝統、権威のある大会です。真の日本一を決める日本最高峰の大会ですから、その大会にふさわしい大会運営をしていかなければならない。一方、新型コロナウイルスの感染拡大による影響をさまざまな視点から考慮し、大会形式の大幅な変更を4月の天皇杯実施委員会でも決定しました。101回、102回とバトンをつなぐことが重要な使命であると同時に、非常事態にどう対応するかもしっかりと考えながら、記念すべき100回大会を成功させていきます。

100周年記念事業委員会においては、2021年の一年間を事業年度として位置づけ、その準備を着々と進めてきました。単年の取り組みで終わらせることなく、次の新しい100年に向けてJFAがどのような未来像を描けるかを見据えた事業を展開したいと思っています。一方、その事業年度の直前に新型コロナウイルスという未曾有の非常事態に直面させられました。外的環境の大きな変化をしつかりと受け止め、100周年記念事業の在り方そのものもあらためて検討し、節目に相応しい事業を展開していきます。

財務委員会は、予算と決算が適正に行われていること、それに合わせて年度予算が適正に組成されていることが、組織を継続して発展させていく上で非常に重要です。各事業部門がかなり頑張っており、精度を上げてくれており、職員にも学びが蓄積され

てきています。その精度をより上げていきたいと思っています。

環境を提供し、裾野を広げる

われわれにとってのお客様はサッカーファミリーの皆さんです。お客様に対して、どういうサービスを提供できるかというのを考えて実行していきましょう。また、われわれJFAにはステークホルダーが多くいます。その中で職員も重要なステークホルダーだと考えています。最終的には職員がサッカーファミリーにサービスを提供するのであり、その職員がどれだけ楽しくハッピーに仕事をできているかでサービスの質は変わってきます。職員が自分の仕事に対して意欲や自信を持てる職場にしていきたいと思っています。

サッカーファミリーの皆さんに対しては、安全に、安心して、自由にボールを蹴ってもらえる環境を提供していきたい。そのためにJFAがあると思っています。FIFAワールドカップでベスト4に入ると日本を比較すると、日本は総人口に対するサッカー登録者数の割合がまだ低い。競技人口を増やし、裾野を広げることが日本サッカー全体のレベルアップにつながると考えています。

新型コロナウイルスが頭から離れない日々が続いていますが、2022年のワールドカップは待つてくれません。2021年には東京オリンピックも予定されています。JFAは各カテゴリー日本代表チームを全面的にサポートしていきます。皆さまにも引き続きの応援をよろしくお願いいたします。

競技会委員長

林 義規 (はやし よしのり)



プロフィール

現職：JFA副会長、(公財)東京都サッカー協会会長、(学)暁星学園中学校 教諭
 学歴：早稲田大学 卒業
 サッカー歴：早稲田大学ア式蹴球部、東京都教員団サッカーチーム
 職歴：(学)暁星学園中学校

前年度に引き続き、競技会委員長を務めさせていただきます。

これまでの競技会は、第1種から第4種・女子まである種別ごとの大会部会の中で会議を行い、そこで完結していましたが、昨年度は全種別を横断して暑熱対策に取り組みました。その結果、全国高校総合体育大会(サッカー競技)は2024年から冷涼地で開催されることが決まるなど一定の成果を上げることができました。

委員会の課題として国内サッカーカレンダーの最適化・改革が挙げられます。近年、第4種でJFA全日本U-12サッカー選手権大会が夏から冬に移行したように、少しずつ改善が図られています。現在は昨今の新型コロナウイルスの影響により、大会は延期や中止が続いていますが、この対応も種別関係なく必要なこと。終息が見えない中でリーグ戦や各大会のスケジュールを調整することは容易ではありません。しかし、公平性を担保しながらも、希望を捨てずにサッカーがまた一歩前進できるような限りのことをしていきます。

女子委員長

今井 純子 (いまい じゅんこ)



プロフィール

現職：JFA理事、FIFA Task Force for the women's Football、アジアサッカー連盟女子委員会 委員、(公財)日本スポーツ協会 理事
 学歴：筑波大学 卒業、筑波大学 博士課程修了
 サッカー歴：筑波大学女子サッカークラブ、Portobello Football Club (アイerland)、F.C.PAF
 職歴：(公財)日本サッカー協会等

引き続き、女子委員長を務めさせていただくことになりました。

女子サッカーの普及・発展を大きく推進するために重要な契機が連続する大きな波を迎えようとしています。これからの4年間は、延期が決定した東京オリンピック、女子プロリーグの創設、国体少年女子の部の開始、2023年のFIFA女子ワールドカップ招致と、女子サッカーにとって大きなトピックが続く時期となります。この好機に女子サッカーを大きく発展させられるように普及を進め、まずは競技人口を倍の10万人にして男女比10%を達成すべく、全国で女子サッカーの裾野を広げ、層を厚くすることができるよう、これまで積み重ねてきた準備を開花させる時としたいと考えています。

女子サッカーの発展は、女子サッカーだけのためものではなく、日本サッカー全体の発展に関わり、サッカーファミリーを厚く豊かにするために不可欠なものであると考えています。ぜひとも日本サッカーに関わる全ての皆さんに、そのように位置付けていただければと思います。

フットサル/ビーチサッカー委員長

北澤 豪 (きたざわ つよし)



プロフィール

現職：JFA理事、(一社)日本障がい者サッカー連盟 会長
 学歴：修徳高校 卒業
 サッカー歴：本田技研工業サッカー部、読売クラブ、ヴェルディ川崎、東京ヴェルディ1969、日本代表選手等
 職歴：本田技研工業(株)、(有)ケイティビー等

今まで積み重ねてきたもの、すなわちフットサルとビーチサッカーの発展を止めることなく、さらに深化させていくことが自分の使命だと感じています。

昨今の新型コロナウイルス感染拡大の影響により、人々の価値観が変わりつつあるように感じています。スポーツに対する価値観も同様であり、プレーヤーだけでなくスポーツ愛好者の方にとってもスポーツがもたらす心身の健康という側面が大きいことをあらためて感じるかもしれません。スポーツが、フットボールが、社会に対してどれだけ貢献できるかを再認識するとともに、今後の日本社会へどのように貢献できるかをあらためてみんなど考えていきたいと思います。

サッカーの環境づくりは今のJFAの大きなテーマとなっていますが、フットサルやビーチサッカーの育成年代の環境をつくっていくことも大変重要だと考えています。JFAは大きな組織改編を行い、フットボールを一つの組織でまとめています。サッカー、フットサル、ビーチサッカーという異なる競技の垣根を越えて、相互発展を目指したいと思っておりますので、皆さまのご理解ご協力をよろしく願います。

法務委員長

三好 豊 (みよし ゆたか)



プロフィール

現職：JFA理事、アジアサッカー連盟 (AFC)法務委員会 委員、東アジアサッカー連盟 法務委員会 委員、森・濱田松本法律事務所パートナー 弁護士、米国ニューヨーク州弁護士
 学歴：慶應義塾大学法学部 卒業、米国ジョージワシントン大学ロースクール (LL.M.) 卒業
 職歴：森・濱田松本法律事務所等

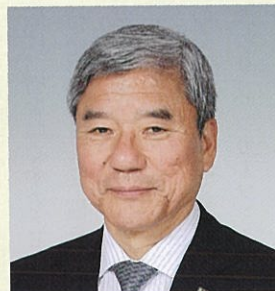
法務委員長として再任されました弁護士の上三好豊です。法務委員会は、JFAの各種規約・規程の作成やガバナンス(組織運営)を含む法務関連政策を管掌しています。

サッカーのみならず全てのスポーツは、アスリートのひたむきな努力が結実する、公平公正を旨とした夢のある世界であるべきです。しかし、その一方で指導者による体罰・暴言や団体役員による不祥事等が後を絶たない旧態依然とした部分も残存しています。

そのような中、昨年6月にスポーツ庁からスポーツ団体の組織運営の原則・規範を定めた「スポーツ団体ガバナンスコード」が公表されました。JFAとしても日本の他のスポーツ団体の模範となるグッド・ガバナンスを実現すべく、これまで以上に内部管理体制の構築、ステークホルダーの関与強化、コンプライアンスの徹底を図る必要があります。JFAのガバナンスの構築および法務面の基盤強化に向け、サッカーファミリーの一員として、少しでもお手伝いできるように頑張っています。

殿堂委員長

大仁 邦彌 (だいにくにや)



プロフィール

現職：JFA最高顧問
 学歴：慶應義塾大学 卒業
 サッカー歴：三菱重工業株式会社サッカー部、日本代表選手等
 職歴：三菱重工業株式会社、(公財)日本サッカー協会等

殿堂委員会は、日本サッカー界に永年にわたり顕著な貢献をされた方を日本サッカー殿堂の掲額者として推薦することや日本サッカー殿堂に関する事項を担っています。2016年から殿堂委員長を務め、継続してJFA創立100周年を迎える年に委員長を務めさせていただくことに責任の大きさを感じています。

日本サッカーのこれまでの道は決して平坦ではなく困難の連続で、大変多くの方がご尽力されてこられました。これからも日本サッカーの歴史を正確に残して、日本サッカーを築き上げてこられた方々の努力や功労を学び、尊びながら継承し、未来に生かしていくことの助けになりたいと思います。

日本サッカー殿堂掲額者は、日本サッカーミュージアムにその功績が掲示されています。また、同ミュージアムには、日本サッカーの数々の名勝負の資料や貴重な文献、歴史が掲示・保存されています。日本サッカーの歴史からさまざまなことを学びながら、これからも皆さんと日本のサッカーのレベルアップを目指していきたいと思っています。

社会貢献委員長

日比野 克彦 (ひびの かつひこ)



プロフィール

現職：JFA参与・アドバイザーボードメンバー、東京藝術大学 美術学部 美術学部長
 学歴：東京藝術大学 卒業、東京芸術大学大学院 修了
 サッカー歴：東京藝術大学サッカー部選手・顧問
 職歴：東京芸術大学等

4年前に社会貢献委員会が発足してから委員長を務めさせていただいています。JFAが掲げている「サッカーを通じて豊かなスポーツ文化を創造し、人々の心身の健全な発達と社会の発展に貢献する」という理念を実現していくために、社会貢献委員会ではJFAの活動が現代社会の課題解決にどのように貢献、関係しているかという視点で調査、分析してきました。

JFAはスポーツ団体として国内でリーダーシップを発揮していかなくてはならない存在です。それには代表チームの強化が重要であり、そのためには各地域、各年代との連携において47都道府県組織やリーグとの連携は欠かせないものです。そして、コンプライアンスが求められる現代において、社会貢献活動は、団体、企業として積極的に実行していかなくてはならないことであると考えます。

新たな委員会メンバーと共に、委員長としてさまざまな団体や人々と連携し、JFAの社会貢献活動をさらに社会に発信し、世界が次世代のあるべき姿として目指している多様性を認め合える社会を実現していくために寄与していきたいと考えています。

日本サッカー協会、新体制の発足

国体実施委員長 植田 昌利 (うえだ ますとし)



プロフィール

現職：JFA常務理事、(公財)東京都サッカー協会
副会長 兼 専務理事、(一社)日本フットボ
ルリーグ 監事、(一財)全国社会人サッカー連
盟 評議員、(公財)東京都体育協会 副理事長
学歴：明治学院大学 卒業
サッカー歴：
高校サッカー部、2級審判員、3級審
判インストラクター
職歴：株式会社東急コミュニティー、(公
財)東京都サッカー協会

2006年にJFA理事に就任して以来、国体実施委員長や1種大会部会長をはじめ、いくつかの専門委員を務めさせていただき、47都道府県協会、そしてJFAが抱えるさまざまな問題を肌で感じ、その改善に取り組んでまいりました。

国体実施委員長としては、2022年から予定している少年女子(U-16)の導入をスムーズに行うことが大きな使命です。各都道府県において女子の普及、特に中学生年代の活性化につながることを期待しています。

また、超高齢化社会を見据え、健康寿命を延ばしていく取り組みも必要なことでしょう。そのためには、近年競技人口が増え続けているシニア年代に、例えば子どもたちとの触れ合いの場を設けるなどして、生きがいを見つけていくこともよいのではないのでしょうか。

全国のサッカーファミリーの皆さまからも忌憚(きたん)のないご意見をいただきつつ、さまざまな問題解決の一助となるよう微力ながら全力で取り組んでまいります。日本サッカーのさらなる発展に向けて共に歩みを進めてまいります。

復興支援委員長 上田 栄治 (うえだ えいじ)



プロフィール

現職：JFA参与、株式会社Jヴィレッジ代
表取締役副社長
学歴：青山学院大学法学部 卒業
サッカー歴：
青山学院大学サッカー部、フジタサッカー
クラブ、ナショナルトレセンU-16、ベル
マーレ平塚 監督、マカオ代表 監督、日本
女子代表 監督、湘南ベルマーレ 監督
職歴：株式会社フジタ、(公財)日本サッ
カー協会等

復興支援委員会は2011年、東日本大震災の後に組織されました。われわれには、その時の甚大な被害と人々の支援の輪を忘れず、真の復興を目指す責務があります。さらに近年は、今までに経験したことがない規模の災害が次々と起こり、それらについても復興支援委員会として支援を検討すべきと考えます。

復興支援委員会とJヴィレッジの仕事は、サッカーで地域を元気にするという意味で重なります。Jヴィレッジは現在、サッカーを通してスポーツの振興と交流人口の拡大による福島復興のシンボルとなることを目指しています。

2011年FIFA女子ワールドカップでなでしこジャパンが優勝しました。私はその大会に帯同して、なでしこジャパンの選手たちの被災地に元気を送るといふ強い気持ち、劣勢でも決してあきらめない戦いに感動しました。復興支援に関わるにあたって、今までのさまざまな経験を生かし、地域をサッカーで元気にする夢を実現したいと思えます。

世界全体が新型コロナウイルスの脅威にさらされていますが、決して諦めず、健康でサッカーを楽しめる日常を取り戻しましょう！

委員会委員長

(任期2年)

	委員会	委員長
専門委員会	施設委員会	徳田 康*
	リスペクト・フェアプレー委員会	山岸 佐知子*
	殿堂委員会	大仁 邦彌
	コンプライアンス委員会 ※名称変更	須原 清貴*
	社会貢献委員会	日比野 克彦
	アスリート委員会 ※新設	川口 能活*
特別委員会	将来構想委員会	田嶋 幸三
	100周年記念事業委員会	須原 清貴
	復興支援委員会	上田 栄治
大会実施委員会	天皇杯実施委員会	須原 清貴
	国体実施委員会	植田 昌利

*新任

常設委員会委員長

(任期2年)

	委員会	委員長
常設委員会	国際委員会	田嶋 幸三
	競技会委員会	林 義規
	財務委員会	須原 清貴
	技術委員会	反町 康治*
	女子委員会	今井 純子
	審判委員会	篠 俊行*
	フットサル/ビーチサッカー委員会	北澤 豪
	医学委員会	池田 浩
	法務委員会	三好 豊

*新任

(全て2020年3月29日現在)



dunhill



日本サッカーの新拠点が完成

ここで、日本のサッカーは強くなる

写真は一部加工しています

■高円宮記念JFA夢フィールドができるまで

- 2014年3月…………… JFA理事会で、JFAが創立100年を迎える2021年までに各カテゴリ日本代表チームのトレーニングやメディカルサポート、指導者・審判員の養成、国際交流・国際貢献活動等拠点として(仮称)JFAナショナルフットボールセンターを都内近郊に整備することを決定
- 2015年5月…………… JFA理事会で、整備候補地を千葉県千葉市の県立幕張海浜公園とすることを決定
- 2015年9月…………… (仮称)JFAナショナルフットボールセンターを県立幕張海浜公園に設置することについて千葉県と基本協定を締結
- 2016年11月…………… JFA理事会で、施設整備基本計画案を検討
- 2017年2~4月…………… 施設整備基本計画案を基に公募型技術提案総合評価見積方式(技術提案の内容及び見積金額による総合評価)によって設計・施工者を公募
- 2017年5月…………… 設計・施工者の選定に向けて審査会を実施
- 2017年9月…………… JFA理事会で、設計・施工者を戸田建設株式会社・株式会社三菱地所設計共同企業体とすることを決定
- 2017年10月…………… 人工芝ピッチ工事に関する設置メーカー、施工会社を選定(路盤、表層、照明)
- 2017年12月…………… 千葉県に対し、県立幕張海浜公園の公園施設設置許可を申請
- 2018年3月…………… 公園施設設置許可を取得。千葉県と事業協定を締結
- 2018年4月…………… 解体撤去工事の開始
- 2018年10月…………… (仮称)JFAナショナルフットボールセンター建設計画の安全祈願祭および起工式を開催
- 2018年12月…………… 正式名称を「JFA夢フィールド」にすることを決定。同施設建設のための寄付金を募集
- 2019年11月…………… JFA理事会で、故高円宮憲仁親王殿下の日本サッカー界における功績を後世に伝えるため、その宮号を冠し、「高円宮記念JFA夢フィールド」とすることを決定
- 2020年3月…………… 「高円宮記念JFA夢フィールド」竣工
- 2020年4月…………… 供用開始も、新型コロナウイルス感染拡大防止のため休館

日本サッカー協会(JFA)の新たな拠点「高円宮記念JFA夢フィールド」が完成した。約12.4万㎡の敷地にクラブハウス、天然芝ピッチ2面、人工芝ピッチ2面(※)、フットサルアリーナを備えたこの施設は、羽田空港と成田空港のどちらからも車で約40分、電車では東京駅から最寄りの海浜幕張駅まで約30分、駅からは徒歩約15分と国内外からアクセスしやすい場所にある。

構想は2014年3月、「代表チームの強化はもちろん、指導者や審判員の養成拠点としての機能も付加してJFAのあらゆる活動の拠点となり得る施設を目指す」(大仁邦彌会長/当時)として、JFAは都内近郊に専用のフットボールセンターを整備することを決定した。イングランドやフランス、

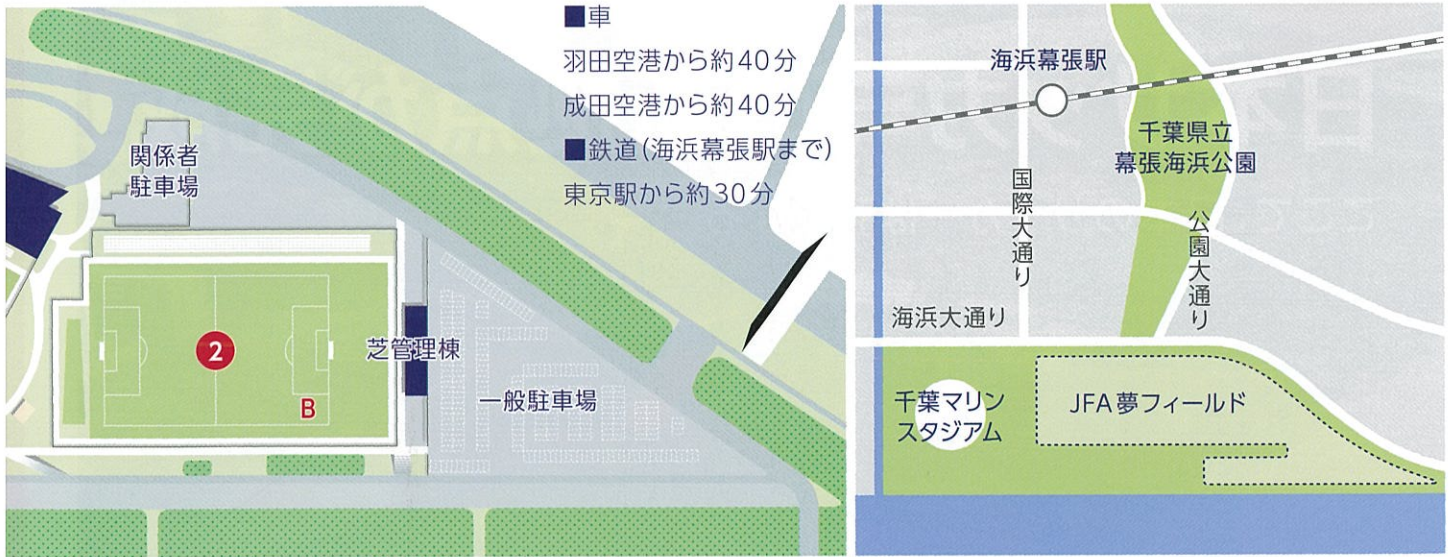
スペインなど世界の強豪国では、代表チームの強化をはじめ、トップクラスの指導者や審判員の養成に取り組めるようサッカー協会/連盟が専用の施設を保有しており、JFAとしても日本サッカーのより一層の発展に向けて、また「JFA2005年宣言」の具現に向けた重要な足掛かりとして専用のトレーニング施設は欠かせないと踏み切った。

(7)国際交流・国際貢献活動の国内拠点建設費用は13年度より年間5億円×8年間の予定で確保。寄付金も広くサッカーファミリーから寄せられた。JFA夢フィールドに日本サッカーの機能の全てを集中させ、サッカー強化のノウハウや知見を集積し、国内外に情報を発信する。最高の環境下で日本サッカーの継続的な強化と普及を図っていくほか、サッカー以外のスポーツ競技やスポーツイベントにも施設を提供し、日本スポーツの発展に寄与することも視野に入れて活動していく。

【設置目的】

- (1)代表チームのトレーニング環境整備
- (2)代表チームのベースキャンプ機能
- (3)代表選手のメディカルサポート
- (4)指導者養成・育成事業の拠点
- (5)コーチングスタッフの常駐拠点強化・育成・指導者養成・サポート(スタッフ他)
- (6)審判員養成

※うち1面は千葉県サッカー協会が「千葉県フットボールセンター」として整備
 ※4月7日に開催予定だった「高円宮記念JFA夢フィールド開所式」は3月4月にかけて開催予定だった「内覧会」は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期となっている



■車
 羽田空港から約40分
 成田空港から約40分
 ■鉄道(海浜幕張駅まで)
 東京駅から約30分

③C・Dピッチ(人工芝)

アスファルト舗装上に15mm厚の緩衝層(ゴムチップ混合物)を設置し、その上に芝丈55mmのロングパイル人工芝を敷設。充填材には表面温度の上昇を抑制するため、特殊樹脂チップを使用。JFAロングパイル人工芝の公認を取得。

■フットサルアリーナ

フットサル代表等が使用するフットサル専用のアリーナ。床材は、湿度や乾燥などに強く安全性の高いフローリングを採用している。

【施設概要】

高円宮記念 JFA 夢フィールド
 (英語表記: Prince Takamado Memorial JFA YUME Field)
 住所: 千葉県千葉市美浜区美浜 11
<https://www.jfa.jp/nfc/>



クラブハウス(外観)

© JFA / KKPO Shota Hiyoshi

チームミーティングルーム



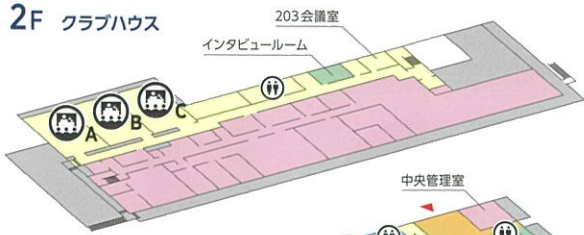
© JFA / KKPO Shota Hiyoshi

カンファレンスルーム(約180名収容)



© JFA / KKPO Shota Hiyoshi

2F クラブハウス



1F



凡例

- ロッカールーム A/B/C/D
- レフェリー用ロッカールーム
- ジム
- 診察室
- チームミーティングルーム
- スタッフ用ロッカールーム
- カンファレンスルーム
- トリートメントルーム
- バスルーム
- お手洗い



①Aピッチ(天然芝)

ティフトンのロール芝を張り、ペレニアルライグラスによるウインターオーバーシーディングを行い、1年を通じて常緑でプレークオリティの高いピッチに仕上げている。主に、SAMURAI BLUE(日本代表)やなでしこジャパン(日本女子代表)をはじめとする各カテゴリーの日本代表が使用する。

②Bピッチ(天然芝)

JFA グリーンプロジェクトのポット苗方式を採用し、サッカーファミリーの手作業でティフトンピッチを造成。ウインターオーバーシーディングをし、Aピッチと同等のクオリティとなっている。通常のピッチの1.2倍の広さを備えている。



TOKYO 応援宣言



東京オリンピック・パラリンピックに向けて盛り上がるスポーツ界。
そこで起きた最新ニュースから東京2020で活躍が期待される新星、
あなたの知らないスポーツの話題を隔々まで
松木安太郎を中心に伝えます！

さらに松岡修造は2020に向け
情熱を捧げる人たちを全力応援！！



毎週

日曜あさ

サンデー LIVE!内 放送

栄光

挫折

日本サッカーの 記憶と記録が 宿る場所

日本サッカーミュージアムは、95年を超える日本サッカーの歴史を今に伝え、未来につなげる場所です。日本サッカーは多くの人たちの情熱と努力によって発展してきました。日本サッカーミュージアムでは、その歩みを物語る数々の資料や文献、映像、優勝トロフィーなどのほか、国際大会や各種大会で選手が着用したユニフォーム、スパイクなども随時展示。どれもが、ここでしか目にすることができない貴重な物ばかりです。また、特別展示室では、期間限定の企画展を年に数回開催。子どもたちには日本サッカーの歴史を知りたいだけでなく、身近に感じ学んでほしいという思いから、夏休み自由研究イベントや学習プログラムも実施しています。

※企画展やイベント等の詳細はホームページをご確認ください

歓喜

試練



有料チケットのデザインは全4種
(1998年FIFAワールドカップ仕様1種、2002年FIFAワールドカップ仕様3種)

日本サッカーミュージアム

- 開館時間 火曜日～金曜日 13:00～18:00(最終入場17:30)
土日祝日・特別開館日 10:00～18:00(最終入場17:30)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌火曜日)
- 入場料 一般料金 大人 550円、小中学生 300円、幼児 無料
割引適用※ 大人 450円、小中学生 200円
※団体(20名様以上)、障がい者の方・その付添者の方、JFAサッカーファミリー、日本サッカー後援会会員、来館日より1年以上以内に国内で開催されたサッカーの有料試合のチケット持参の方
- 住所 〒113-8311 東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15) JFAハウス
TEL:050-2018-1990

- アクセス JR「御茶ノ水駅」・東京メトロ丸ノ内線「御茶ノ水駅」より徒歩約7分、東京メトロ丸ノ内線「本郷三丁目駅」・同千代田線「新御茶ノ水駅」・都営地下鉄大江戸線「本郷三丁目駅」より徒歩約9分
- URL https://www.jfa.jp/football_museum/



※日本サッカーミュージアムは、新型コロナウイルス感染症予防および拡散拡大の防止のため、2月26日(水)から臨時休館しています。開館可能な状況になりましたら、ミュージアム公式サイトにてお知らせさせていただきます。

日本サッカーミュージアムを支援いただいている企業(五十音順) ※2020年5月1日現在

株式会社ADKマーケティング・ソリューションズ
アスカ美装株式会社
キリンビール株式会社
キリンビバレッジ株式会社
KDDI株式会社
J-GREEN堺・DREAM CAMP
株式会社JTBグローバルマーケティング & トラベル
株式会社リリーグ

株式会社ジエブ
株式会社シミズアウト
株式会社スケール
ソーネットワークコミュニケーションズ株式会社
株式会社テレビ朝日
株式会社テレビ東京
株式会社電通
株式会社電通ライブ

西鉄旅行株式会社
日本テレビ放送網株式会社
株式会社野村総合研究所
びあ株式会社
株式会社ビッグ・バーン
ホテル東京ガーデンパレス
マッシュコーポレーション株式会社
株式会社マッス

株式会社ムラヤマ
株式会社モルテン
ヤマザキビスケット株式会社
株式会社ユース・プランニングセンター

2002 FIFAワールドカップ記念

日本サッカーミュージアム 1+

Stay Home

期間限定企画として、サッカーファミリーの皆さんに「私のコレがおすすめ」を聞いていく新コーナーを設けました。

第1弾は、なでしこジャパン(日本女子代表)の高倉麻子監督、JFAフィジカルフィットネスプロジェクトの菅野淳リーダー、名古屋オーシャンズの吉川智貴選手より、おすすめの本や家での過ごし方などを聞きました。

高倉麻子 監督

私の おすすめ本

●本との出会い

村上春樹さんの本は大学生の頃から好きで読んでいました。デビュー作の『風の歌を聴け』から『1973年のピンボール』『羊をめぐる冒険』の三作品、そして、それらの完結編とも言える『ダンス・ダンス・ダンス』を読みました。村上さんの代表作に『ノルウェイの森』もありますが、このシリーズは私にとって心に伝わってくるものが大きかったです。今でも新作が出ればほぼ読んでいます。

これまで生きてきた中で何かに行き詰まるとこの本を読んできました。村上さんの本は繰り返し読みたくなる魅力があり、読むと落ち着くんですね。誰も生きていけばいろいろなことがあるのだと思わせてくれる。考え、悩み、出会い、悲しみ、辛いことがあって、それでも、表向きでは何事もないように見せて日常を生きていたりします。読むと不安定な気持ちがちゃんと着地して安定するので、これまで何回も助けてもらっている本です。

●おすすめポイント

この物語は、前の三部作からつながる、「僕」の喪失と再生の物語とされています。“あちら側”と“こちら側”。“入口”と“出口”。人生は何かが始まり終わる、その繰り返しで、その虚無感みたいなものをさまざまな登場人物との関係や独特な会話を通して読み手に訴えかけてきます。それは村上さんの押しつけではなく、私たちの感性でどんな形にも広げていける物語だと思います。

●自分にとっての読書タイム

旅行と一緒に、違う世界に行くことができる手段です。いつもサッカーの現場等で「動」の世界にいますが、読書は「静」の時間。対極の位置づけにあります。自分にとってとても大事な時間です。本を

『ダンス・ダンス・ダンス』(上・下)

著者：村上春樹
発行元：講談社
発行日：1988年10月24日

読むのは主に移動の電車の中や寝る前で、日中、家ではあまり読みません。本を読むためにカフェに行くことも多いです、図書館で読むことも多いです。

●最近のおうち時間

先日はパンを焼きました。大好物のポロネーゼも赤ワインやトマト、セロリ、玉ねぎを煮込んでソース作りから始めて作りました。料理本を見るのが好きで本はたくさんありますが、普段はあまり作りません。でも、今は自宅にいる時間が長いのでちょっと作ってみています。なかなか楽しいです。図画工作や美術などの物作りは子どもの頃から好きで、粘土細工だったり、絵画もやってみたいですね。

●サッカーファミリーの皆さんへ

誰も予想しなかったことが起きていますが、こういうときにしかできないことがあると思います。これまでとは違う形でサッカーを追求すること一つですし、サッカー以外に何か興味があることにトライできる時間だとも思います。家族や身近にいる人とポジティブな時間を過ごせるように、自分で楽しめるものを探してみてもいいのではないのでしょうか。

サッカー以外にもいろいろな世界を感じることで、想像力が働いたり、イメージが膨らんだりすることが必ずあると思います。考え方が広がりますし、それはサッカー選手としても大事な要素だと思うので、自分に合う本を探して読んでみることもぜひおすすめしたいです。



菅野淳 JFAフィジカルフィットネスプロジェクトリーダー

●おすすめポイント

2015年にフィジカルコーチとしてFCソウル(韓国)からジュビロ磐田に復帰したときに初めて読んだ本です。著者の鈴木政一さんは、02年に磐田の監督としてJ1リーグの1stステージと2ndステージ(当時)を制して完全優勝を成し遂げるなど、いわゆる“ジュビロの黄金時代”を築き上げた人です。私が1992年にコンディショニングコーチ



として入ったヤマハ発動機サッカー部(ジュビロ磐田の前身)で最も影響を受けた指導者の一人でもあります。

この本の良いところは、サッカーの指導者としての考え方、コーチング・フィロソフィーなどを、鈴木さんが独特の表現でつづっているところです。鈴木さん自身のサッカーとの出会いから選手人生や指導者人生が書かれた後、「理念」の章では、各年代におけるサッカー指導、一貫指導、指導方法、選手の育て方

などが細かく記されています。良い指導者になるためのエッセンスが詰まっていますので、指導者の方ももちろん、指導者を目指す方にも読んでほしい内容です。

●家での過ごし方

私は早寝早起きが習慣になっており、毎日その生活スタイルで過ごしています。料理は基本的に3食自炊で、料理をしている時間は余計なことを一切考えずにひたすら集中して作っています。IT化が進み、情報がインターネット上に溢れるような時代にあっても、読書はとて良いと思います。私にとって読書はコーヒーを片手にホッとする時間です。

●サッカーファミリーの皆さんへ

今は新型コロナウイルスの影響で皆さんが大変な思いをされている時期だと思います。けれど下を向いてばかりではいけません。普通の生活に戻るその日まで、できるだけ楽しいことを考えて過ごしましょう。決して皆さんは一人ではありません。私たちはつながっています！

私の おすすめ本

『育てることと 勝つことと』

著者：鈴木政一

発行元：叢文社

発行日：2013年4月16日

吉川智貴 選手

●おすすめポイント

読書はもともと好きで、昔は自己啓発の本やスポーツ選手の本などもよく読んでいました。パナソニック創始者の松下幸之助さんの自伝はとても学びになり、生い立ちから、リーダーの在り方、そして会社経営のこと。それが自分の人生を変えたかと言われると難しいですが、読み物として興味深かったですね。

最近小説ばかりを読んでいるのですが、それ以外で珍しく読んで印象的だったのが、SHOWROOM代表取締役社長の前田裕二さんが書いた『メモの魔力』です。たまたま朝のテレビ情報番組で前田さんがコメンテーターとして出ているのを見て、そのコメントから「視点が面白いな」と思って、本を買ってみました。

その本には、何気ないことでもメモを取ってよく考えるといういろいろな発見があるということが書いてあって、僕もメモを取るようになりました。普段、それほど影響を受けるタイプではないのですが、メモを取ることで気付かされることは実際にいっぱいありますし、アスリ

私の おすすめ本

『メモの魔力』

著者：前田裕二

発行元：幻冬舎

発行日：2018年12月24日

ートとしても向上していくためのヒントにもなったと感じています。

●本以外のおすすめ

実は無趣味でありテレビや映画を見たりしないのですが、唯一、欠かさずに見ているのが、Netflix(ネットフリックス)で配信されている「ペーパー・ハウス」というドラマです。8人組の強盗団が、造幣局に立てこもるという強盗事件ものなのですが、手に汗を握る内容です。さまざまな言語で配信されていますが、スペインでプレーしていた時に身に付けたスペイン語を忘れないために、語学学習の一環として、スペイン語で見たいです。吹き替え版や日本語字幕版もあるので、ぜひ見てみてください！



TSUBASA

OFFICIAL
MATCH BALL



サッカーファミリー広場



■反町康治技術委員長からサッカーファミリーの皆さまへ

日本サッカー協会の技術委員長を務める反町康治です。私の仕事はキッズからプロまでの日本のサッカー向上、発展に向けて努力をしていくことです。

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため自粛生活を余儀なくされている状況は、スポーツ界にも大きな影響を与えています。それは日本のサッカー界も同様です。好きなサッカーをすることができない、またそういった子どもたち、選手たちを指導することができない現状にフラストレーションがたまっていることでしょう。さらにそれぞれの地域の町クラブの経営状態もひっ迫していると聞いております。日本サッカー協会はこうしたクラブに対して支援事業をするべく動いています。ですから遠慮なく手を上げていただきたいと思います。



写真は2007年当時

こうした状況下で私が特に心配しているのは、サッカーが大好きな子どもたちやそれを見守る指導者たちがサッカー離れをしてしまうことです。外で思いっきりボールを蹴ることができない、チームで活動することができない、そのことによってサッカーに対して興味を失ってしまうことです。

私はこうした状況のためにサッカーを決して諦めてほしくはないのです。サッカー好きの子どもたちは夢や希望を持ってサッカーを続けてほしい。先日、清水エスパルスのピーター・クラモフスキー監督が取材の中で「そう遠くない将来に日本代表はワールドカップで優勝してもおかしくない」とコメントしているのを見て勇気づけられました。子どもたちは数年後に日本代表のブルーのユニフォームを着て大観衆の中でプレーする可能性を秘めています。また、それを見守る指導者たちも是非そうした子どもたちにロジック（論理）とパッション（情熱）をもって指導を続けてほしいと強く願っています。サッカーを諦めず、今は辛抱と捉え新型コロナウイルスとの戦いに共に挑みましょう。

サッカーファミリーの皆さんがサッカーを通じてスポーツの喜び、チームスポーツの喜びを感じ、笑顔で送れる生活が再び訪れることを強く信じています。

「可能性は無限大」です。

2020年5月7日

公益財団法人日本サッカー協会
技術委員長 反町康治

読者プレゼント

応募締切：2020年6月15日（月）当日消印有効

アディダス ジャパン（株）提供

日本代表のオフィシャルサプライヤーであるアディダス ジャパン（株）より、サッカースパイクを1名様にプレゼント。ご希望のサイズを明記の上、ご応募ください。なお、スパイクのモデルの発表は当選者様への発送をもってかえさせていただきます。



JFA STORE 提供

「JFA STORE」は日本代表のグッズなどが揃うJFAのオフィシャルコマースサイトです。

さまざまなシーン、目的に合わせてグッズを確認できるページに加え、特集ページも用意しました。

今号では「大空 けん玉 サッカー日本代表ver.」を1名様にプレゼント。



<https://official-store.jfa.jp/>

JFA STORE



JFA STOREインスタグラムでは「#日本代表グッズでステイホーム」というハッシュタグでけん玉の技を公開中。
<https://www.instagram.com/jfastoreofficial/>

プレゼント応募方法

■Web

URL：<https://forms.gle/eXUrQRVJRGBLLT528>

今号より、Webのプレゼント応募フォームを設けました。上記URLもしくはQRコードよりアクセスしてご応募ください。



■はがき

〒113-8311

東京都文京区サッカー通り（本郷3丁目10番15号）JFAハウス
公益財団法人 日本サッカー協会・広報部
「JFAnews プレゼント応募」係

①名前、②郵便番号・住所、③電話番号、④希望プレゼント名、⑤JFAnewsのご感想・ご意見などを明記の上、郵送でお送りください。

当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます。発送は2020年6月下旬の予定ですが新型コロナウイルスの感染拡大対策の影響により、お届けに大幅な遅れが生じる可能性があります。

※収集した個人情報は厳重に管理し、他の目的には使用いたしません。 ※お送りいただいた葉書は返却いたしません。

発行人：須原清貴

発行所：公益財団法人 日本サッカー協会
〒113-8311

東京都文京区サッカー通り(本郷3-10-15) JFAハウス
TEL.050-2018-1990(代) / FAX.03-3830-2005
URL <https://www.jfa.jp>

監修：公益財団法人 日本サッカー協会 広報部

編集：編集長 加藤秀樹
JFAnews編集部 / (株)ウォールニクス

印刷：サンメッセ(株)

定価：600円/本体545円

日本サッカー協会(JFA)は現在、ウェブ会議システム等を用いて会議や会見、取材等を実施しています。本誌の取材につきましてもウェブ会議システムや電話、書面による取材で皆さまに変わらぬ情報を届けてまいります。

JFAはこうした取り組みが新型コロナウイルス感染拡大を抑制し、一日も早い終息に寄与するとともに、働き方改革の推進などより良い社会の実現に向けた仕組みづくりの一助になればと考えております。

次号2020年6月情報号は、2020年6月22日発売予定

[特集テーマ] 強い体をつくる(後編)

※特集テーマ・内容は変更となる可能性があります

ご購入のお知らせ

・インターネットからのご購入

日本サッカー協会 Official Online Shop

<https://webshop.jfa.jp/fs/jfagoods/c/top>

※クレジットカード決済のみ。

上記サイトでは本誌のほかJFA関連発行物の購入が可能です(30~31ページ参照)



・年間購読

JFAnewsの年間購読料は、送料・税込みで1年間(12冊)5,000円で、年間2,200円お得です。

ご希望の方は上記インターネットまたは31ページの専用申込書にご記入の上お申し込みください。

・チーム登録をされているご購読者さまへ

JFAnews発送における住所変更、名義変更を希望される場合は、JFA公式ウェブサイトの「JFAへの登録」よりJFA IDシステムにログインしていただき、変更をお願いします。

万一の 事故やケガに 備えて、 損害保険に 加入しませんか？

損害保険取扱代理店



株式
会社

ジェイ・セイフティ

〒113-0033 東京都文京区本郷3-10-15 JFAハウス9階

TEL:03(3830)1925 FAX:03(3830)1929

© J.LEAGUE adidas, the 3-Bars logo and brazuca are trade marks of the adidas Group, used with permission.

引 受 保 険 会 社

- 三井住友海上火災保険株式会社(代申社)
- 損害保険ジャパン日本興亜株式会社

- 東京海上日動火災保険株式会社
- 明治安田損害保険株式会社

よろこびがつなく世界へ

KIRIN



新しい応援、ひろがる。



KIRIN

2019年6月~9月A代表戦出場時間トップ11 © JFA

#届けてキリン



SAMURAI BLUE

